

新刊案内	2
------------	---

シリーズ別書籍紹介

新典社研究叢書	13
古代中世文学論考	22
和歌文学注釈叢書	22
新典社注釈叢書	22
青表紙本 源氏物語	23
影印本シリーズ	24
影印校注古典叢書	24
新典社校注叢書	25
大妻文庫	26
活字本 教科書	26
日本の作家	27
女性作家評伝シリーズ	27
新典社選書	27
新典社新書	30
単行本	33

書名索引	35
著者・編者索引	43
新典社常備店一覧	48

新典社
図書出版目録
2022



古代中世文学論考 第44集 古代中世文学論考刊行会 編

『古事記』に表れた畏怖と倫理観 古屋明子／オモヒカネの系譜に關する考察 青柳まや／『日本靈異記』における「氣」とその表象 大塚千紗子／上代詔勅における「理念の陳述」と律令政治の思想基盤の構築 楽曲／F・V・ディキンズによる二つの英訳『竹取物語』の底本 丸山由生奈／『源氏物語』手習巻の「袖ふれし人」歌考 山崎和子／『紫式部日記』寛弘七年の記事と催馬楽「此殿」 佐藤有貴／『十代集拔書』(『十代集』)の撰集資料の調査報告 三村晃功／謡曲「定家」の後続作 天野聡一

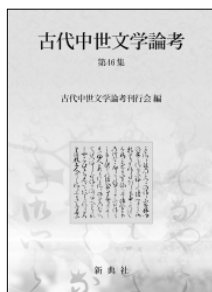
ISBN978-4-7879-3544-1 A5判上製 280頁 6710円



古代中世文学論考 第45集 古代中世文学論考刊行会 編

人麻呂歌集「庚辰年七夕歌」訓釈考 土佐秀里／『万葉集』巻八・一六六一番歌考 桐生貴明／『落窪物語』の「笑い」 弘井理子／小町「花の色は…」注釈史考 室田知香／月食の夜と「望月」 坪美奈子／『道成集』解題と校本 曽根誠一

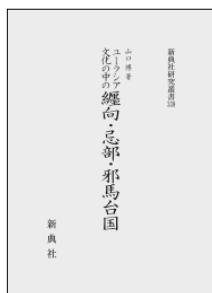
ISBN978-4-7879-3545-8 A5判上製 280頁 6710円



古代中世文学論考 第46集 古代中世文学論考刊行会 編

『枕草子』の紅梅をめぐる考察 赤間恵都子／藤壺詠「袖ぬるる」歌をめぐる一考察 戸田瞳／末摘花の祝儀の品 高倉明樹子／六条御息所の鎮魂再考 牧野裕子／『源氏物語』の氷魚はアユの稚魚か 加藤伸江／近代の源氏絵の系譜 河添房江／『我が身にたどる姫君』の密通 大塚千聖／日蓮と空海伝承 丹治正弘／『中臣祇訓解』の典拠研究 小田島良／翻刻『補缺類題和歌集』(前篇) 三村晃功

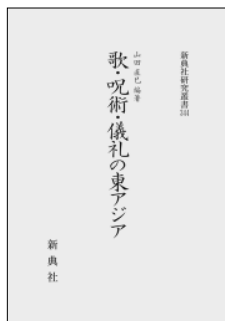
ISBN978-4-7879-3546-5 A5判上製 380頁 8470円



ユーラシア文化の中の纏向・忌部・邪馬台国

山口博 著

第一編 大殿造営、幣物製作と忌部 忌部の大殿・神殿造営と祭具製作／忌部登場の歴史時代／忌部の物作り神話／第二編 ファジーな状況証拠からの忌部祭祀年代 古体の大殿祭祀詞／祭祀の襷スタイル／天語りを語る忌部／第三編 阿波の忌部 二つの忌部地域／大麻山古墳群／阿波郡の神殿／弥生矢野工業団地／阿波ブレ忌部エリアは倭国／第四編 大和の忌部 倭国阿波、大和へ／忌部祭祀エリアにおける祭祀活動／忌部祭祀エリアの中の幻覚性大麻／纏向祭政機構／(忌部レクイエム・忌部関係年表・東遷概念図・索引・他) 新典社研究叢書339 ISBN978-4-7879-4339-2 A5判上製 472頁 15180円



歌・呪術・儀礼の東アジア

山田直巳 編著

序章 アジア基層文化と古代日本／第一章 祭祀・儀礼・伝承論／第二章 表記・歌掛け論／第三章 比較表象論

＊「アジア少数民族文化と日本」の共同研究をもとに、異なるフィールドの研究者17名が、日本基層文化の源流と現在を多角的に解き明かす。(執筆者：工藤隆・張正軍・廣田律子・山田直巳・富田美智江・北條勝貴・菅原壽清・手塚恵子・曹咏梅・飯島奨・草山洋平・梶丸岳・岡部隆志・遠藤耕太郎・真下厚・今井秀和・北村皆雄)

新典社研究叢書344 ISBN978-4-7879-4344-6 A5判上製 544頁 17600円



東歌を読む 「歌路」の理論から読み解く東国の歌謡

辰巳正明 著

解題／凡例／東歌を読む I 勸国歌（東歌・相聞・譬喩歌）II 未勸国歌（雑歌・相聞・防人歌・譬喩歌・挽歌）

＊万葉集巻十四収録の東歌。歌垣の挑発的でエロチシズムに満ちた愛の表現から、東歌生成の道筋（歌路）を辿り、歌の原点にも迫る。恋歌の熟する頃に万葉仮名で書きとめられた、一字一音の世界。

ISBN978-4-7879-0650-2 A5判並製 336頁 3410円



大和の古代文化

奈良県立万葉文化館 編

リレー講座—大和の古代文化— 万葉人の自然認識と表現 寺川眞知夫／大伴旅人、讃酒歌遡源 上野誠／孝謙女帝の帝権感覚 松尾光／持統天皇と役行者 菅谷文則／発掘からみえる悲劇の宰相 長屋王 田辺征夫／越中万葉の文化的意義 坂本信幸／飛鳥の秋 長安の秋 千田稔／古代の紙 湯山賢一／万葉文化館サミット—万葉古代学が目指すもの— 寺川眞知夫・上野誠・松尾光・井上さやか

ISBN978-4-7879-7867-7 B6判並製 232頁 1870円



王朝文学の〈旋律〉

伊藤禎子・勝亦志織 編

＊20年来続く研究会から生まれた多様な学智が奏でる集大成。作品に向き合い、新たな可能性を探り、分析を試みる。源氏・枕草子・更級・大和・うつほ・落窪ほか王朝物語や貴族日記を論じる16本。(執筆者：神田龍身・近藤さやか・三原まきは・富澤萌未・手塚智恵子・勝亦志織・伊勢光・新田紗穂子・伊藤優紀奈・増田高士・千野裕子・中丸貴史・福里将平・伊藤禎子・武藤那賀子・毛利香奈子)

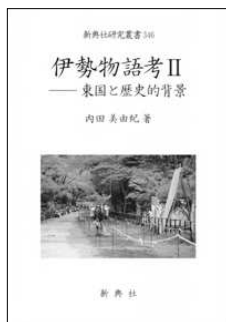
新典社研究叢書347 ISBN978-4-7879-4347-7 A5判上製 360頁 11660円



日本古典文学の研究

日本古典文学研究会 編

〔講演〕光源氏の生き方から見る『源氏物語』 廣田収／『源氏物語』 椎本巻における八の宮と薫の贈答歌の解釈 櫛井亜依／『源氏物語』における光源氏と女君の贈答歌 風岡むつみ／『小右記』の虚構 滝沢優子／『今昔物語集』にみる靈魂の行方 久留島元／『宇治拾遺物語』三二話「右大臣」考 嶋中佳輝／『宇治拾遺物語』における食欲 趙智英／宇治拾遺物語・古事談・古今著聞集における連鎖の技法 生井真理子／『延慶本平家物語』名のり考 城阪早紀／『沙石集』伝本の行方 加美甲多／逸翁本『大江山絵詞』の独自性 八木智生／A. Cabezas 訳スペイン語版『伊勢物語』“Cantares de Ise”における和歌訳の形式と掛詞について 雨野弥生
新典社研究叢書 345 ISBN978-4-7879-4345-3 A5判上製 320頁 10340円



伊勢物語考Ⅱ —— 東国と歴史的背景

内田美由紀 著

第一章 『伊勢物語』の陸奥とその時代／第二章 『伊勢物語』の関東とその時代／第三章 『伊勢物語』の海外とその時代／第四章 業平とその時代／第五章 業平以後の時代

＊業平が生きた時代の東国すなわち陸奥や関東のほか、海外の状況や業平周辺人物たちも含めた歴史的背景を考察し、当時の視点・価値観とともに伊勢物語への理解を深める。関根賞受賞作待望の続編。

新典社研究叢書 346 ISBN978-4-7879-4346-0 A5判上製 372頁 12320円



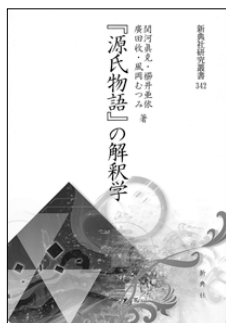
歌物語史から見た伊勢物語

宮谷聡美 著

第一部 『伊勢物語』の主題と形成 「よむ」歌と「いふ」歌／『伊勢物語』と和歌・漢文学／『伊勢物語』と歌謡／第二部 歌物語の文学史 『伊勢物語』長編化の方法／『うつほ物語』の和歌と歌物語／平安後期物語と中世王朝物語における和歌の位置

＊伊勢物語はどのようにして生まれ、何を表現しようとしたのか。伊勢物語の表現から主題と形成の様相を読み解くと共に、和歌と散文の関係に着目し、歌物語を軸とした新たな文学史の構想を試みる。

新典社研究叢書 349 ISBN978-4-7879-4349-1 A5判上製 368頁 11880円



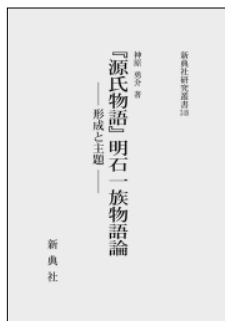
『源氏物語』の解釈学

関河眞克・櫛井亜依・廣田収・風岡むつみ 著

『源氏物語』朝顔考 廣田収／『源氏物語』桐壺更衣の歌「かざりとて」小考 風岡むつみ／『源氏物語』存在の根拠を問う和歌と人物の系譜 廣田収／『源氏物語』の舞楽 関河眞克／『源氏物語』「わが御私の殿と思す二条院」考 櫛井亜依／『源氏物語』幻巻「独り住み」考 櫛井亜依／『源氏物語』巻末歌考 風岡むつみ

＊物語を読むことから、解釈の精度をいかに高めて、「学」とするか。

新典社研究叢書 342 ISBN978-4-7879-4342-2 A5判上製 256頁 8250円



『源氏物語』明石一族物語論 ― 形成と主題 ―

神原勇介 著

第一篇 明石巻の恋愛譚の形成 〈あて〉なる明石の入道／明石の入道の代作の手紙／「あたな夜」攷／第二篇 越境の物語の形成 明石の入道の遣水転落／明石の尼君の呼称変化／明石の姫君の裳着と紫の上の地位／第三篇 〈女系繁栄〉の主題 明石の入道の人物像／明石の君の内なる竜女たち／女系繁栄譚としての明石一族物語／附篇『源氏物語』の時代背景に関する考証 「門分かれたる」藤原氏公卿／「放出（はなちいで）」の再検討

新典社研究叢書 348 ISBN978-4-7879-4348-4 A5判上製 320頁 10230円



平安貴族を襲う悪霊の風 ― 『栄花物語』異聞 ―

福寛美 著

招魂／平安時代の霊的事象／藤原道長の病と霊的事象／霊的事象 藤原教通北の方の場合／悪霊／風・風病／頼通の風／自然現象の風／民俗世界の悪霊の風概説／『綜合日本民俗語彙』の悪しき風の用例／悪霊の風／無常の風／返りの風／風の行方

＊栄花物語に登場し、貴賤を問わず人々をおびやかす存在「風」。霊的現象や流行病の記述を、民俗学の知見をもって解き明かす試み。

ISBN978-4-7879-7868-4 B6判並製 144頁 1320円



堤中納言物語論 読者・諧謔・模倣

陣野英則 著

I 多様な読者と短篇物語 「ほどほどの」読者たち／物語の聴き手たち／生成と享受の密着した「場」の文学／II 諧謔、そしてあらたな表現の試み 同語反復とはぐらかし／観音信仰を虚仮にする／表と裏の物語／III 女房たちの参考書として 危機対応の実践例／多様な女房たちの標本／異質さとのかわり方／物語から遠くはなれて／参考書としての『堤中納言物語』

新典社研究叢書 352 ISBN978-4-7879-4352-1 A5判上製 320頁 10450円

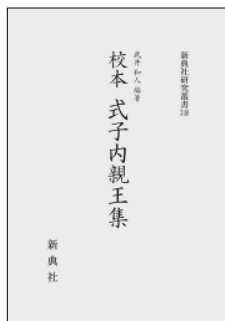


『扶桑略記』の研究

扶桑略記を読む会 編

『扶桑略記』の研究史と今後の可能性 三好俊徳／『扶桑略記』の成立圏と編者について 田中徳定／『扶桑略記』と仏教 三好俊徳／『扶桑略記』の史的意義 佐藤愛弓／『扶桑略記』における怪異 久留島元／『扶桑略記』における『日本霊異記』説話の利用 嶋中佳輝／『扶桑略記』所収「奥州合戦記」と『陸奥話記』 城阪早紀／『扶桑略記』における説話採録の方法 加美甲多／『扶桑略記』の記事と歴史の編纂と 廣田収

新典社研究叢書 338 ISBN978-4-7879-4338-5 A5判上製 296頁 9460円



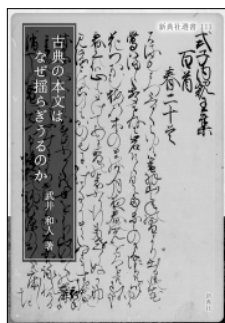
校本 式子内親王集

武井和人 編著

凡例／校本篇／底本・対校諸本一覧／架蔵本・影印／解説篇／研究
史及び伝本分類規準／伝本書誌解題／諸本系譜論への道

* 宮内庁書陵部本を主な底本に、式子内親王集44本の校異を1頁で一
覧できる形式で掲載。必要に応じて当該部分の図版も掲げ、架蔵
本の影印は全編を収録した。校本の利用しやすさに配慮した決定版。

新典社研究叢書340 ISBN978-4-7879-4340-8 A5判上製 728頁 23650円



古典の本文はなぜ揺らぎうるのか

武井和人 著

第一部 論の始発—『式子内親王集』の事例から—／第二部 本歌とその流転／第三部 歌語史のなかで／第四部 なぜ同じ対立異文が文献を超えて発現するのか／第五部 改めて『式子内親王集』を考える
＊古典にはなぜ様々な本文があるのか。式子内親王集を始発に万葉・新古今ほか古典全般の問題として揺らぎ発生の原因に向き合い、試行錯誤する過程をもふくめて「本文研究」のための道筋を提示する。

新典社選書111 ISBN978-4-7879-6861-6 B6判並製 256頁 1980円



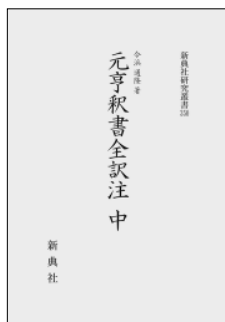
鎌倉武士の和歌 —— 雅のシルエットと鮮烈な魂 ——

菊池威雄 著

序章 宮廷文化としての和歌／第一章 源家の雅／第二章 歌わぬ
將軍頼経／第三章 歌人將軍宗尊親王の時代と和歌／第四章 將軍
惟康と時宗／第五章 鎌倉の歌道師範／第六章 歌人執権貞時と將
軍久明親王／第七章 武家の和歌

* 初の武士政権が統治力を発揮するには武力のみならず儀礼や文化が不可欠であり、それゆえ鎌倉武士たちは和歌をも嗜んだ。将軍・御家人らの和歌活動を追う。北条氏歌人系図、和歌関係略年表付。

新典社選書105 ISBN978-4-7879-6855-5 B6判並製 304頁 2420円



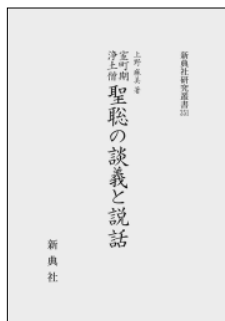
元亨釈書全訳注 中

今浜通隆 著

卷第十一 感進／卷第十二 感進・忍行／卷第十三 明戒／卷第十四 檀興／卷第十五 方応／卷第十六 力遊・願維／卷第十七 願維／卷第十八 願維／卷第十九 願維・度総論／卷第二十 資治表

＊鎌倉時代後期に日本で最初に作られた仏教通史・元亨釈書。五山文学の先駆的存在・虎関師錬が精魂込めた大作を現代語訳し注を施す。中巻は巻第二十まで収録。国内外の僧侶たちから天皇や臣下も。

新典社研究叢書 350 ISBN978-4-7879-4350-7 A5判上製 996頁 32450円



室町期 聖聡の談義と説話
浄土僧

上野麻美 著

第一編 『厭穢欣淨集』所収説話の研究／第二編 『大經直談要註記』所収説話の研究／第三編 『小經直談要註記』所収説話の研究／第四編 『当麻曼陀羅疏』所収説話の研究／第五編 『禅林小歌註』の研究／第六編 聖聡の談義注釈の行方

＊芝増上寺の開祖・聖聡が遺した仏典注釈書には説話が多用されている。出典と利用方法の分析・検討から一般民衆に寄り添う談義僧としての側面に光を当て、中世浄土談議所を巡る状況を考察する。

新典社研究叢書 351 ISBN978-4-7879-4351-4 A5判上製 288頁 9240円



なぜ神楽は応仁の乱を乗り越えられたのか

中本真人 著

I 内侍所御神楽を守った三人の公卿／II 応仁の乱と内侍所遷座／III 中世の内侍所御神楽／IV 没落する公家、活躍する公家／V 内侍所臨時・恒例御神楽の再興／VI 乱世を乗り越えゆく内侍所御神楽

＊応仁の乱によってすべての朝儀が停止する中、真つ先に再興されたのが内侍所御神楽であった。非常事態に文化を維持すべく公家たちはどんな行動にでたか。応仁の乱を「神楽」という視座から辿る。

新典社選書 109 ISBN978-4-7879-6859-3 B6判並製 184頁 1485円



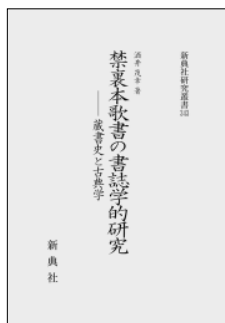
後水尾院時代の和歌

高梨素子 著

天皇の即位／慶長千首和歌／中院通村による添削／元和の御学問講／父帝への追悼／中院通村の『源氏物語』講義／古今伝受の権威化／鳥丸光広と細川幽斎／鳥丸光広の『耳底記』／院と一絲文守／年中行事的御会／宮中の月次御会／院による歌の添削／他全74節

＊江戸時代初期。後水尾院は和歌を愛好し、伝統の復活や継承を試み、さらにはそれらの記録を残した。1回およそ3頁でテーマを設けて歌を紹介しつつ、院と周辺人物たちの和歌活動と在り方を追う。

新典社選書 104 ISBN978-4-7879-6854-8 B6判並製 264頁 2090円



禁裏本歌書の書誌学的研究 —— 蔵書史と古典学

酒井茂幸 著

第I部 禁裏本歌書論 近世禁裏仙洞における定数歌・歌会の書写活動について…他全八章／第II部 二条派歌学論 『和歌三重大事』の諸本と成立…他全八章／第III部 資料・翻刻篇 中田光子氏蔵『古今和歌東家極秘』翻刻…他全六章／第IV部 追補篇…全四章

＊中世・近世を中心とした書誌研究にひたすら向き合い続けるも、急逝した著者の業績を、本人が生前意図していた構成をもとに集成。

新典社研究叢書 343 ISBN978-4-7879-4343-9 A5判上製 904頁 29700円



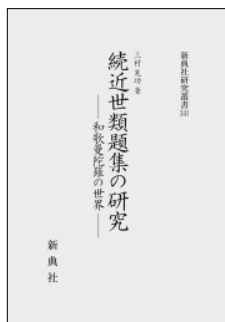
元禄名家句集略注 椎本才麿篇

佐藤勝明・永田英理・玉城司 著

はじめに／椎本才麿略歴／注釈／凡例／付録／椎本才麿年譜／初句索引／語彙索引／あとがき

＊元禄俳諧の名家6人を現代語訳・語釈するシリーズの完結篇。和漢の詩歌にも通曉した椎本才麿句を元禄俳壇の背景をふまえて注釈し、絵文字も再現。略歴、才麿年譜、初句・語彙索引も収録した。

ISBN978-4-7879-0649-6 A5判並製 428頁 4290円



続近世類題集の研究 ―― 和歌曼陀羅の世界 ――

三村晃功 著

第一章 総論 類題和歌集の精髓 和歌曼陀羅の世界／第二章 各論 近世類題集の諸相 『愚問和歌集』／『證歌集』／『補缺類題和歌集』／『春雨抄』／『温知和歌集』／『類葉倭詞集』／『三玉和歌集類題』の撰集資料／『故人證詞集』／『和歌類葉集』／『草木貝目目』／『類題和歌作例集』／第三章 付論 中世類題集の新出伝本の紹介 国文学研究資料館蔵『夫木和歌抄』（春部一）の属性

新典社研究叢書 341 ISBN978-4-7879-4341-5 A5判上製 608頁 19580円



「宇治」豊饒の文学風土 ―― 成立と展開に迫る決定七稿 ――

日本文学風土学会 編

宇治雑感「日本文学風土学会なかりせば」 馳浩／文学風土「宇治」の基層と展開 及川道之／「宇治の橘姫」 攷 佐々木雷太／厭世と栄華の宇治 藤本宗利／宇治と和歌 中田幸司／宇治と中世文学 石黒吉次郎／隠逸の文藝史への序章 原國人／近代歌人と宇治 小清水裕子／後記 根本欣哉

＊万葉集から与謝野晶子まで、現地踏査を軸とした宇治の文学史。

新典社選書 102 ISBN978-4-7879-6852-4 B6判並製 230頁 1848円

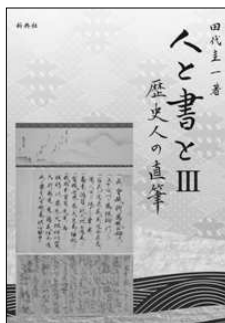


富士山と文学

石田千尋 著

凡例／Ⅰ 序論 富士山の古典文学／Ⅱ 総論 富士山像の形成と展開／Ⅲ 各論 富士山の古代信仰／富士山と竹取説話／僧道興の和歌と修験／契沖の和歌／紅く燃えるふじ／Ⅳ 付篇 『新編国歌大観』における「富士山」用例／古典文学作品（上代～中世の散文・歌謡等）における「富士山」用例／報告書抄／ケカチ遺跡出土刻書土器の和歌／Ⅴ 解題 鉄野昌弘／あとがき 石田順朗

ISBN978-4-7879-7866-0 B6判並製 352頁 2805円



人と書とⅢ 歴史人の直筆

田代圭一 著

＊前二著に続き、宮内庁関係機関が所蔵する天皇家、摂関ら公家、武將他の書を影印を掲げ解説。Ⅲでは鎌倉時代以降、江戸時代の人物を中心に取り上げる。近年の展示における最新の話題のほか、寺田屋事件直後に手に怪我を負った坂本龍馬の書といった臨場感溢れる背景や、書き手の人となりについても考察。どこからでも読める全50回に加え、書を一層楽しむためのコラムや人間関係系図も収録。

ISBN978-4-7879-7869-1 A5判並製 220頁 2200円



日本の恋歌とクリスマス — 短歌とJ-pop

中村佳文 著

第一章 忘れられた待つこと／第二章 「身もこがれつつ」／第三章 「クリスマスだからじゃない」／第四章 日本の恋歌とクリスマス／第五章 短歌県みやざきに詠う／最終章 「さよならは永遠の旅」
＊古典和歌から桑田佳祐等のJ-popまで、待つこととクリスマスの掛け合わせにより導かれる恋歌の響きとは。宮崎県の魅力を発信する「国文祭・芸文祭みやざき2020」から生まれた、恋の文化論。

新典社選書108 ISBN978-4-7879-6858-6 B6判並製 228頁 1870円



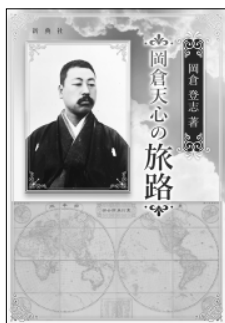
女性死刑囚の物語 — 明治の毒婦小説と高橋お伝 —

板垣俊一 著

高橋お伝の罪科と当時の物語／毒婦小説と江戸文化のなごり／物語の創作方法／お伝の新聞報道と裁判所の関係者紕間／お伝の供述／お伝の供述と物語／お伝の虚像と実像／お伝の最期

＊明治時代に典型的な毒婦として描かれた高橋お伝。お伝を題材とした小説は裁判における彼女の切実な供述を反転するかのように成立したことを、江戸時代からの戯作小説の流れを追って解き明かす。

新典社選書110 ISBN978-4-7879-6860-9 B6判並製 240頁 1980円



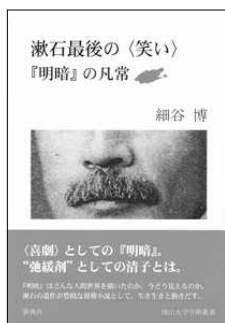
岡倉天心の旅路

岡倉登志 著

第一章 岡倉覚三（天心）と西洋文学・演劇・漢詩／第二章 欧米への旅立ち／第三章 中国・インドへの旅路／第四章 ボストン時代／第五章 岡倉覚三の人間模様

＊岡倉天心を曾祖父にもつ著者が、天心の欧州調査旅行・中国調査旅行に主な焦点をあてつつ文学・演劇・建築への関心について綴る。根岸倶楽部と早稲田文学にかかわる人々をはじめとした人間模様も。

ISBN978-4-7879-7871-4 B6判並製 308頁 3080円



漱石最後の〈笑い〉『明暗』の凡常

細谷博 著

人物関係図／第一章 一〇〇年の〈笑い〉／第二章 津田の〈ゆるみ〉／第三章 お延の〈自負〉／第四章 「愛の戦争」／第五章 『明暗』の〈凡常〉／あとがき——あらがう漱石、あらがう読み

＊漱石没により幕が下りた『明暗』。サラリーマン夫婦のありふれた日常がスリリングな人間喜劇と化し、〈凡常〉のおかしみが横溢する小説世界の動きを読み解き、〈未完〉の絶妙な味わいを再発見する。

ISBN978-4-7879-5518-0 四六判上製 256頁 1870円



三浦綾子文学の本質と諸相

竹林一志 著

三浦綾子の生涯と三浦文学の特徴／〈神を指し示す指〉としての三浦文学／三浦文学と聖書／三浦文学における聖句の受肉化／三浦文学と祈り／『天北原野』と「主の祈り」／三浦文学におけるクリスチャン／『氷点』における陽子の罪／『続 氷点』の陽子／夏目漱石『心』と『氷点』『続 氷点』『氷点』『続 氷点』年表

＊2022年に生誕百年をむかえる三浦綾子。キリスト教的主題を巧みに作品化し、読者を聖書に導くことを試みた三浦文学の方法とは。

ISBN978-4-7879-7870-7 A5判並製 320頁 3190円



東京裁判の思想課題 —— アジアへのまなざし

野村幸一郎 著

序 保田與重郎の東京裁判批判／Ⅰ 徳富蘇峰の「国民」観念／Ⅱ 松井石根の大亜細亜主義／Ⅲ 大川周明の「三国意識」／Ⅳ 竹山道雄のファシズム論／Ⅴ 堀田善衛と南京事件／Ⅵ 阿川弘之が語る開戦への道程／あとがき——坂口安吾のまなざし

＊東京裁判史観を「思想課題」として読み解く。その言説は近代日本がアジアをどう認識していたのか知る、重要な手がかりでもある。

新典社選書107 ISBN978-4-7879-6857-9 B6判並製 272頁 2200円



《新明解》な 比喩づくし

はんざわかんいち 著

何はともあれ 明解に／トロロコンプか あおみどろ／サイズ違いのサイドカー／人をたとえば 穴だらけ／漢語をかたく やわらかく／外来語には 在来を／動詞同士は どうしてか／はばかりながら 合体も／負けてはいない オノマトペ

＊新明解国語辞典・一九九三年刊行の第四版をテキストに、通常の辞典とは比べようもないほど語釈に多用される、魅惑の比喩を紹介。

新典社新書83 ISBN978-4-7879-6183-9 新書判並製 160頁 1100円



とびらをあける中国文学 ― 日本文化の展望台

高芝麻子・遠藤星希・山崎藍・田中智行・馬場昭佳 著

言葉の来た道 高芝麻子／日中の古典作品に見える有り得ない自然現象とその意味するもの 遠藤星希／中日井戸異聞 山崎藍／『金瓶梅』宋恵蓮故事を読む 田中智行／『水滸伝』から考える明清時代のエンタメ小説：白話小説 馬場昭佳

＊故事成語や伝統文化、水滸伝、金瓶梅一日中の今と昔を行き来しながら、古典を鍵として、日常に隠れた知的冒険のとびらをあける。
新典社選書103 ISBN978-4-7879-6853-1 B6判並製 308頁 2530円

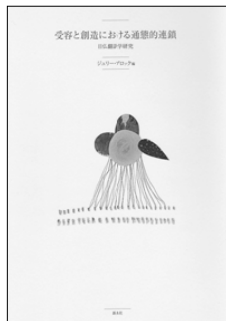


古典文学をどう読むのか ― シェイクスピアと源氏物語と ―

廣田収・勝山貴之 著

対談 古典文学をどう読むのか／シェイクスピアをどう読むか―
『ヴェニスの商人』私の読み方の場合― 勝山貴之／『源氏物語』私の読み方の場合 廣田収

＊最近では敬遠されがちな古典文学の魅力について、英文学と国文学の両方から語りかけ、光をあて直す。さらにはその読み方の実践となるやさしい解説を、シェイクスピアと源氏物語を題材に収めた。
新典社選書106 ISBN978-4-7879-6856-2 B6判並製 256頁 2090円



受容と創造における通態的連鎖 日仏翻訳学研究

ジュリー・ブロック 編

第一部 日本古典文学の解釈をめぐる／第二部 文学の生命感を翻訳する／第三部 風土学と翻訳／研究ノート（執筆者：エリック・アヴォカ／伊藤玄吾／岩下武彦／岩永大気／金子美都子／駒木敏／鉄野昌弘／寺井龍哉／寺田澄江／鳥山定嗣／西澤一光／野田農／ジュリー・ブロック／オギュスタン・ベルク／横田悠矢）

＊オギュスタン・ベルクの現象学用語「通態性」を足がかりに、東洋・西洋の古典近現代文学に対して翻訳学研究の展望を切り拓く。

ISBN978-4-7879-5516-6 A5判並製 460頁 5170円



B・H・チェンバレン J・バチェラー アイヌ説話集 1888年の“幻の説話”

宮尾慈良 編訳

第一部 アイヌの説話 B・H・チェンバレン／第二部 アイヌ民間伝承の標本 J・バチェラー／付録 『アイヌ昔噺』

＊チェンバレン『アイヌの説話』採録の54話とバチェラー『アイヌ民間伝承の標本』採録の12話、初の邦訳が一冊に。アイヌ古老の語る説話の数々がいま蘇る。チェンバレン『アイヌ昔噺』の付録つき。

ISBN978-4-7879-5517-3 A5判並製 200頁 2090円



学ぶ前にふれる 実践中国語練習帳

野村幸一郎 監修・丁若思 著

入門編 とりあえずふれてみよう／基礎編 動詞のつかい方をマスターして表現の幅を広げよう／発展編 疑問詞や助動詞をマスターして実践的な会話を身につけよう

＊中国語に少し興味がある、まだ勉強したことはない方にお勧め。
数ある中国語の学習書のなかでも、ずば抜けてやさしい内容の本書を本格的な学習を始める前に開いて、中国語の世界を覗いてみよう。

ISBN978-4-7879-0648-9 A4判並製 96頁 1320円

◆◇ シリーズ別書籍紹介 ◇◆

新典社研究叢書

継続刊行中

	編著者	判型	頁数	本体価格
1 北村季吟の人と仕事	野村貴次著	A5判	648頁	〔品切〕
2 近代文学と西鶴	竹野静雄著	A5判	448頁	〔品切〕
3 幸若舞曲考	麻原美子著	A5判	688頁	〔品切〕
4 西鶴研究序説	谷脇理史著	A5判	560頁	〔品切〕
5 西鶴研究論攷	谷脇理史著	A5判	440頁	〔品切〕
6 民俗学の方法序説 — 麦酒祭の研究 —	服部旦著	A5判	408頁	〔品切〕
7 王朝国語の表現映像	神尾暢子著	A5判	564頁	〔品切〕
8 平安後期日記文学論 — 更級日記 讃岐典侍日記 —	守屋省吾著	A5判	328頁	〔品切〕
9 近代作家論叢 — 自我確立の系譜 —	片岡懋著	A5判	616頁	〔品切〕
10 平安後期物語の研究 — 狭衣 浜松 —	久下晴康著	A5判	320頁	〔品切〕
11 万葉防人歌の諸相	林田正男著	A5判	280頁	〔品切〕
12 日本仏教文学研究 第三集	永井義憲著	A5判	736頁	〔品切〕
13 王朝語彙の表現機構	神尾暢子著	A5判	436頁	〔品切〕
14 江戸戯作の研究 — 黄表紙を主として —	井上隆明著	A5判	600頁	〔品切〕
15 王朝歌人伝の研究	杉崎重遠著	A5判	480頁	〔品切〕
16 月詣和歌集の校本とその基礎的研究	杉山重行著	A5判	620頁	〔品切〕
17 古代歌謡の構造	宮岡薫著	A5判	416頁	〔品切〕
18 柿本人麻呂攷	菊池威雄著	A5判	400頁	〔品切〕
19 明治歴史小説論叢	三瓶達司著	A5判	264頁	〔品切〕
20 勅撰集歌人伝の研究	杉崎重遠著	A5判	672頁	〔品切〕
21 夏目漱石とその周辺	片岡懋著	A5判	280頁	〔品切〕
22 紫の上造型論	倉田実著	A5判	360頁	〔品切〕
23 伊勢物語の章段構成	塚原欽雄著	A5判	372頁	〔品切〕
24 中世日記文学論序説	渡辺静子著	A5判	656頁	〔品切〕
25 古代文学の天と日 — その思想と表現 —	戸谷高明著	A5判	232頁	〔品切〕
26 初期俳諧の研究	田中善信著	A5判	352頁	〔品切〕
27 明治文学論集 1 硯友社・一葉の時代	岡保生著	A5判	432頁	〔品切〕
28 明治文学論集 2 水脈のうちそと	岡保生著	A5判	432頁	〔品切〕
29 古典文学論考 — 枕草子 和歌 日記 —	森本元子著	A5判	456頁	〔品切〕
30 国語表現と音韻現象	遠藤邦基著	A5判	464頁	〔品切〕
31 源氏物語の王権と流離	日向一雅著	A5判	296頁	〔品切〕
32 中世和歌の研究 — 資料と考証 —	濱口博章著	A5判	560頁	〔品切〕
33 西鶴文学とその周辺	吉江久彌著	A5判	312頁	〔品切〕

34	佐藤春夫の『車塵集』中国歴朝名媛詩の比較研究	吉川発輝著	A5判	256頁	[品切]
35	浅井了意怪異小説の研究	坂巻甲太著	A5判	360頁	[品切]
36	鷗外の文学世界	須田喜代次著	A5判	320頁	[品切]
37	近世東海俳壇の研究	野田千平著	A5判	616頁	[品切]
38	近代文藝新攷	岡保生編	A5判	388頁	[品切]
39	日本文芸論藪	片野達郎著	A5判	320頁	[品切]
40	万葉集と中国古典の比較研究	孫久富著	A5判	400頁	[品切]
41	近代日本の作家と作品	片岡懋著	A5判	296頁	[品切]
42	中世芸能と仏教	金井清光著	A5判	360頁	[品切]
43	スサノオの命の神話	杉森暢男著	A5判	192頁	[品切]
44	万葉歌人とその時代	星野五彦著	A5判	256頁	[品切]
45	国語副詞の史的研究	濱田敦・井手至・塚原欽雄著	A5判	320頁	[品切]
46	王朝小説論	石川徹著	A5判	496頁	[品切]
47	今鏡研究序説	松園宣郎著	A5判	208頁	[品切]
48	歌舞伎音楽の研究 — 国文学の視点 —	景山正隆著	A5判	576頁	[品切]
49	増鏡考説 — 流布本考 —	伊藤敬著	A5判	480頁	[品切]
50	拾遺集と私家集の研究	秋間康夫著	A5判	320頁	[品切]
51	芭蕉と芭蕉以前	乾裕幸著	A5判	208頁	[品切]
52	芭蕉伝記の諸問題	今栄蔵著	A5判	642頁	[品切]
53	太平記研究 — 民族文芸の論 —	釜田喜三郎著	A5判	428頁	[品切]
54	説話の本質と研究	池辺実著	A5判	424頁	[品切]
55	万葉集と古今集 — 古代宮廷叙情詩の系譜 —	小沢正夫著	A5判	300頁	[品切]
56	平安中期和歌考論	平田喜信著	A5判	372頁	[品切]
57	異形の古代文学 — 記紀・風土記表現論 —	山田直巳著	A5判	272頁	[品切]
58	初期物語話型論	島内景二著	A5判	416頁	[品切]
59	狭衣物語の人物と方法	久下裕利著	A5判	304頁	[品切]
60	江戸文学研究	神保五彌編	A5判	696頁	[品切]
61	東国文学の源泉 万葉集東歌の抒情	志村士郎著	A5判	304頁	[品切]
62	享保期江戸俳諧攷	楠元六男著	A5判	448頁	[品切]
63	国語表現の史的形成	塚原欽雄著	A5判	576頁	[品切]
64	方言と計量分析	市井外喜子著	A5判	496頁	[品切]
65	源氏物語注釈史の研究	井爪康之著	A5判	616頁	[品切]
66	漱石と魯迅の比較文学研究	林叢著	A5判	364頁	[品切]
67	改訂 江戸遊女語論集	近藤豊勝著	A5判	184頁	[品切]
68	藤原俊成論考	上條彰次著	A5判	304頁	[品切]
69	今鏡の表現世界	大木正義著	A5判	392頁	[品切]
70	源氏・後期物語話型論	島内景二著	A5判	616頁	[品切]
71	太平記とその周辺	長谷川端編	A5判	644頁	[品切]
72	落窪物語の表現構成	長沼英二著	A5判	224頁	[品切]

73	春水人情本と近代小説	丸山茂著	A5判	240頁	[品切]
74	歴史物語の表現世界	大木正義著	A5判	464頁	[品切]
75	蜻蛉日記の作品構成	岡田博子著	A5判	244頁	[品切]
76	平安朝歌人の研究	村瀬敏夫著	A5判	320頁	[品切]
77	日本呉音の研究 (全4巻)	小倉肇著	A5判	揃3712頁	[品切]
78	内田魯庵と井伏鱒二	片岡懋・片岡哲著	A5判	416頁	[品切]
79	更級日記研究	伊藤守幸著	A5判	352頁	[品切]
80	説話と縁起	中野猛著	A5判	480頁	[品切]
81	中世古文学像の探求	水原一著	A5判	552頁	[品切]
82	王朝の美的語彙 — えんとその周辺・続 —	梅野きみ子著	A5判	624頁	[品切]
83	王朝文学の表現形成	神尾暢子著	A5判	328頁	[品切]
84	万葉集の叙景と自然	野田浩子著	A5判	624頁	[品切]
85	古典の水脈	上坂信男著	A5判	552頁	[品切]
86	芭蕉と奥の細道論	丸山茂著	A5判	240頁	[品切]
87	明治史劇論叢	三瓶達司著	A5判	256頁	[品切]
88	今鏡 — 構成の彩り —	大木正義著	A5判	464頁	[品切]
89	拾遺集の構成	小池博明著	A5判	336頁	[品切]
90	能・狂言の新論考	金井清光著	A5判	376頁	[品切]
91	古文学の流域	水原一編	A5判	516頁	[品切]
92	日本靈異記の新研究	永藤靖著	A5判	288頁	[品切]
93	日本表現文法論	小松光三著	A5判	384頁	[品切]
94	説話と伝承と略縁起	中野猛編	A5判	272頁	[品切]
95	室町物語論攷	濱中修著	A5判	352頁	[品切]
96	堤中納言物語の形成	保科恵著	A5判	352頁	[品切]
97	日本文学における運命の展開	森田喜郎著	A5判	352頁	[品切]
98	北村季吟論考	榎坂浩尚著	A5判	436頁	[品切]
99	仏教文学の構想	今成元昭編	A5判	624頁	[品切]
100	日本上代の恋愛と中国古典	孫久富著	A5判	512頁	[品切]
101	古典文芸論考	石原清志著	A5判	384頁	[品切]
102	歌語りと説話	雨海博洋編	A5判	496頁	[品切]
103	源氏物語の思惟と表現	上坂信男編	A5判	464頁	[品切]
104	京伝考証学と読本の研究	井上啓治著	A5判	512頁	[品切]
105	万葉集成立論	北原美紗子著	A5判	480頁	[品切]
106	今鏡の表現論考	大木正義著	A5判	480頁	[品切]
107	室町の歌学と連歌	鈴木元著	A5判	400頁	[品切]
108	平安時代物語の研究	原國人著	A5判	264頁	[品切]
109	女房三十六人歌合の研究	大伏春美著	A5判	320頁	[品切]
110	源氏物語と古代世界	伊井春樹・高橋文二・廣川勝美編	A5判	560頁	[品切]
111	平安期日記文芸の研究	石坂妙子著	A5判	360頁	[品切]

112	閑吟集定本の基礎的研究	中哲裕著	A5判	304頁	[品切]
113	平家残照	梶原正昭著	A5判	448頁	[品切]
114	近世前期 猪苗代家の研究	綿拔豊昭著	A5判	528頁	[品切]
115	室町文学襟記	白井忠功著	A5判	320頁	[品切]
116	近世古今伝授史の研究 ― 地下篇 ―	日下幸男著	A5判	816頁	[品切]
117	平安私家集研究	杉谷寿郎著	A5判	616頁	[品切]
118	論考 平安王朝の文学 ― 一条朝の前と後 ―	稲賀敬二編	A5判	336頁	[品切]
119	源氏物語注釈史論考	堤康夫著	A5判	528頁	[品切]
120	今鏡表現論	大木正義著	A5判	576頁	[品切]
121	実朝・仙覚 ― 鎌倉歌壇の研究 ―	志村士郎著	A5判	304頁	[品切]
122	近世文芸への視座 ― 西鶴を軸として ―	谷脇理史著	A5判	384頁	[品切]
123	万葉史を問う	美夫君志会編	A5判	416頁	[品切]
124	古代文学の思想と表現	戸谷高明編	A5判	544頁	[品切]
125	物語文学史の論理 ― 語り・言説・引用 ―	東原伸明著	A5判	256頁	[品切]
126	論集 日記文学の地平	守屋省吾編	A5判	480頁	[品切]
127	古事記の表現論的研究	戸谷高明著	A5判	624頁	[品切]
128	中世文学の諸問題	松本寧至編	A5判	240頁	[品切]
129	歴史物語の研究	松本治久著	A5判	352頁	[品切]
130	西村本の浮世草子	湯澤賢之助著	A5判	320頁	[品切]
131	天草版平家物語私考	市井外喜子著	A5判	208頁	[品切]
132	万葉景物論	戸谷高明著	A5判	368頁	[品切]
133	『おくのほそ道』の本文研究 ― 古典教育の視座から ―	藤原マリ子著	A5判	288頁	[品切]
134	『保元・平治物語』の形成 ― 人物論を中心に ―	大島龍彦著	A5判	400頁	[品切]
135	恋歌の風景 ― 古代和歌の研究 ―	菊池威雄著	A5判	416頁	[品切]
136	歴史物語論集	松本治久編著	A5判	240頁	[品切]
137	古事記スサノヲの研究	山田永著	A5判	416頁	[品切]
138	伊勢物語の文藝史的研究	原國人著	A5判	416頁	[品切]
139	歌舞伎・俄研究 資料編 室戸市佐喜浜町俄台本集成	佐藤恵里著	A5判	1408頁	[品切]
140	国語構文の成分機構	塚原欽雄著	A5判	352頁	[品切]
141	民俗と文化の形成	山田直巳著	A5判	400頁	[品切]
142	堀河朝の文学 ― 堀河天皇の動静を中心として ―	古池由美著	A5判	288頁	[品切]
143	平安朝文学 表現の位相	平田喜信編著	A5判	560頁	[品切]
144	連歌師紹巴 ― 伝記と発句帳 ―	両角倉一著	A5判	400頁	[品切]
145	伊勢物語の成立と表現	神尾暢子著	A5判	288頁	[品切]
146	森嶋外とその文学への道標	酒井敏著	A5判	384頁	[品切]
147	平安時代日記文学の特質と表現	大倉比呂志著	A5判	288頁	[品切]
148	国語副詞の史的研究 増補版	濱田敦・井手至・塚原欽雄著	A5判	352頁	[品切]
149	王朝和歌・日記文学試論	妹尾好信著	A5判	384頁	[品切]
150	東北・北海道俳諧史の研究	井上隆明著	A5判	560頁	[品切]

151	仮名草子研究 — 説話とその周辺 —	花田富二夫著	A5判	512頁	〔品切〕
152	近世小笠原流礼法家の研究	陶智子著	A5判	352頁	〔品切〕
153	係助詞と係結びの本質	半藤英明著	A5判	200頁	〔品切〕
154	古事記神話論	松本直樹著	A5判	480頁	〔品切〕
155	流布本 狭衣物語と下紐の研究	中城さと子著	A5判	688頁	〔品切〕
156	元伯宗旦 —— 宗旦と三千家の成り立ち	坂口善保著	A5判	512頁	〔品切〕
157	源氏物語の構造研究	山田利博著	A5判	496頁	〔品切〕
158	論集 太平記の時代	長谷川端編著	A5判	712頁	〔品切〕
159	新しい枕草子論 主題・手法 そして本文	坪美奈子著	A5判	612頁	〔品切〕
160	三十六歌仙叢考	新藤協三著	A5判	624頁	〔品切〕
161	天皇と和歌 — 三代集の時代の研究 —	今野厚子著	A5判	368頁	〔品切〕
162	連歌史試論	廣木一人著	A5判	528頁	〔品切〕
163	日中古代文芸思想の比較研究	孫久富著	A5判	496頁	〔品切〕
164	枕草子研究	塚原欽雄著	A5判	432頁	〔品切〕
165	うつほ物語引用漢籍注疏 洞中最秘鈔 上原作和・正道寺康子著	上原作和・正道寺康子著	A5判	596頁	〔品切〕
166	与謝蕪村の俳景 — 太祇を軸として —	谷地快一著	A5判	528頁	〔品切〕
167	川端康成と東洋思想	康林著	A5判	176頁	〔品切〕
168	上代文献の出雲 — 記紀でなぜ出雲が重視されたか —	長野一雄著	A5判	208頁	〔品切〕
169	西鶴研究 — 小説篇 —	江本裕著	A5判	352頁	〔品切〕
170	平家物語における「生」	深澤邦弘著	A5判	288頁	〔品切〕
171	天草版平家物語私考 続	市井外喜子著	A5判	192頁	〔品切〕
172	天平の歌人 大伴家持	菊池威雄著	A5判	528頁	〔品切〕
173	今鏡の表現 追考	大木正義著	A5判	400頁	〔品切〕
174	源氏物語の老女房	外山敦子著	A5判	240頁	〔品切〕
175	室町時代和歌史論	伊藤敬著	A5判	704頁	〔品切〕
176	翻刻『源氏物語古註』 — 山口県文書館蔵右田毛利家伝来本 —	熊本守雄編	A5判	1376頁	〔品切〕
177	日本語助詞の文法	半藤英明著	A5判	304頁	〔品切〕
178	太平記と古活字版の時代	小秋元段著	A5判	352頁	〔品切〕
179	寂蓮研究 — 家集と私撰和歌集 —	半田公平著	A5判	576頁	〔品切〕
180	柳沢家の古典学(上) — 『松陰日記』 —	宮川葉子著	A5判	1232頁	〔品切〕
181	孝思想の受容と古代中世文学	田中徳定著	A5判	528頁	〔品切〕
182	鷗外・闘う啓蒙家	渡辺善雄著	A5判	544頁	〔品切〕
183	上代和歌史の研究	高松寿夫著	A5判	560頁	〔品切〕
184	中世の演劇と文芸	石黒吉次郎著	A5判	320頁	〔品切〕
185	氏族伝承と律令祭儀の研究	工藤浩著	A5判	376頁	〔品切〕
186	江戸後期紀行文文学全集 — 第一巻 —	津本信博著	A5判	688頁	〔品切〕
187	平安文学 場と表現	信州平安文学研究会編	A5判	304頁	〔品切〕
188	源氏物語発生史論 — 明石一族物語の地平 —	竹内正彦著	A5判	480頁	〔品切〕
189	落窪物語の表現論理	神尾暢子著	A5判	256頁	〔品切〕

190	源氏物語と平安朝の信仰	鈴木宏昌著	A5判	416頁	[品切]
191	北原白秋 — 象徴派詩人から童謡・民謡作家への軌跡 —	中路基夫著	A5判	320頁	[品切]
192	玄恵法印研究 事跡と伝承	小木曾千代子著	A5判	288頁	[品切]
193	源氏物語〈読み〉の交響	源氏物語を読む会編	A5判	320頁	[品切]
194	智恵子抄の新見と実証	大島龍彦著	A5判	272頁	[品切]
195	藤原頼通の文化世界と更級日記	和田律子著	A5判	596頁	[品切]
196	詠歌としての和歌 和歌会作法・字余り歌 — 付〈翻刻〉和歌会作法書 —	山本啓介著	A5判	576頁	[品切]
197	源氏物語研究 —— 女物語の方法と主題	李美淑著	A5判	384頁	[品切]
198	戦前戦後異端文学論 — 奇想と反骨 —	谷口基著	A5判	480頁	[品切]
199	王朝文学論 — 古典作品の新しい解釈 —	坪美奈子著	A5判	468頁	[品切]
200	芭蕉新論	田中善信著	A5判	448頁	[品切]
201	万葉集の今を考える	美夫君志会編	A5判	352頁	[品切]
202	新修 竹取物語別記補訂	塚原欽雄著	A5判	352頁	[品切]
203	物語文学としての大鏡	桜井宏徳著	A5判	448頁	[品切]
204	近世初期軍記の研究	阿部一彦著	A5判	384頁	[品切]
205	平安期日記の史的世界	石坂妙子著	A5判	256頁	[品切]
206	八犬伝・馬琴研究	播本眞一著	A5判	544頁	[品切]
207	天草版平家物語 影印編	江口正弘編	A5判	448頁	[品切]
208	近松浄瑠璃の成立と展開	平田澄子著	A5判	400頁	[品切]
209	源氏物語における「漢学」 — 紫式部の学問的基盤 —	佐伯雅子著	A5判	336頁	[品切]
210	王朝女流文学論攷 — 物語と日記 —	宮崎莊平著	A5判	384頁	[品切]
211	日本上代の神話伝承	伊藤釵著	A5判	384頁	[品切]
212	王朝継子物語と力 — 落窪物語からの視座 —	畑恵里子著	A5判	272頁	8250円
213	源氏物語と東アジア	仁平道明編	A5判	368頁	[品切]
214	山部赤人と叙景	井上さやか著	A5判	320頁	[品切]
215	古代文学の創造と継承	針原孝之編	A5判	624頁	[品切]
216	源氏物語注釈史の資料と研究	堤康夫著	A5判	816頁	[品切]
217	古事記と歴史叙述	松本弘毅著	A5判	400頁	[品切]
218	式亭三馬とその周辺	吉丸雄哉著	A5判	288頁	[品切]
219	古代神話の研究	小村宏史著	A5判	320頁	[品切]
220	源氏物語 仮名ぶみの熟成	天野紀代子著	A5判	328頁	[品切]
221	古事記の文章とその享受	鈴木啓之著	A5判	304頁	[品切]
222	宣長の源氏学	杉田昌彦著	A5判	384頁	[品切]
223	源氏物語の王権 — 光源氏と〈源氏幻想〉 —	辻和良著	A5判	352頁	[品切]
224	内田百閒論 他者と認識の原画	大谷哲著	A5判	416頁	[品切]
225	中院通勝真筆本『つれつれ私抄』 — 本文と校異 —	高木浩明著	A5判	278頁	[品切]
226	源氏物語と白氏文集	仁平道明編	A5判	336頁	[品切]
227	聖徳太子説話の研究 —— 伝と絵伝と	渡辺信和著	A5判	944頁	[品切]
228	鎌倉時代中後期和歌の研究	鏑武彦著	A5判	432頁	[品切]

229	中世の芸能・文学試論	石黒吉次郎著	A5判	304頁	[品切]
230	文芸史の可能性 ― 平安文芸史新攷 ―	渡辺仁史著	A5判	240頁	[品切]
231	国語学史の探求	尾崎知光著	A5判	288頁	[品切]
232	『倭姫命世記』研究 ― 付訓と読解 ―	中村幸弘著	A5判	672頁	[品切]
233	日本古典文学読解考 ―『万葉』から『しのびね』まで―	後藤康文著	A5判	256頁	[品切]
234	西脇順三郎論 ―〈古代〉そして折口信夫―	太田昌孝著	A5判	256頁	[品切]
235	源氏物語のなごり ― 梗概本・後期物語など ―	中西健治著	A5判	240頁	[品切]
236	物語文学集攷 ― 平安後期から中世へ ―	大倉比呂志著	A5判	576頁	[品切]
237	ウヂノワキイラツコ物語の研究	金澤和美著	A5判	208頁	[品切]
238	源氏物語 姫君の世界	太田敦子著	A5判	320頁	[品切]
239	斎王物語の形成 ― 斎宮・斎院と文学 ―	原横子著	A5判	368頁	[品切]
240	和歌的想像力と表現の射程 西行の作歌活動	平田英夫著	A5判	368頁	[品切]
241	江戸後期紀行文学全集 ― 第二巻 ―	津本信博著	A5判	464頁	[品切]
242	南洋文学の生成 訪れることと想うこと	土屋忍著	A5判	368頁	[品切]
243	大鏡の注釈 ところどころ	小久保崇明著	A5判	304頁	[品切]
244	幸若歌謡の研究	柴田幸子著	A5判	518頁	[品切]
245	宮廷御神楽芸能史	中本真人著	A5判	424頁	13420円
246	狭衣物語 受容の研究	須藤圭著	A5判	404頁	[品切]
247	立原道造新論	名木橋忠大著	A5判	288頁	[品切]
248	謡曲(能)文学論考	松田存著	A5判	432頁	[品切]
249	『古事記』大后伝承の研究	山崎かおり著	A5判	480頁	[品切]
250	源氏物語文化論	原豊二著	A5判	350頁	[品切]
251	伊勢物語考 ―― 成立と歴史的背景	内田美由紀著	A5判	328頁	[品切]
252	吉本隆明初期詩篇論 ―― 我と我々と	川鍋義一著	A5判	400頁	[品切]
253	説話文学の方法	山岡敬和著	A5判	368頁	[品切]
254	禁裏本と和歌御会	酒井茂幸著	A5判	528頁	[品切]
255	更級日記の遠近法	伊藤守幸著	A5判	352頁	[品切]
256	庭訓往来 影印と研究	高橋忠彦・高橋久子編著	A5判	624頁	[品切]
257	石清水物語の研究 ― 第三系統伝本の校本と影印 ―	宮崎裕子著	A5判	640頁	[品切]
258	古典論考 ―― 日本という視座	前田雅之著	A5判	432頁	[品切]
259	和歌構文論考	中村幸弘著	A5判	416頁	[品切]
260	源氏物語続編の人間関係 付 物語文学教材試論	有馬義貴著	A5判	368頁	[品切]
261	冷泉為秀研究	鹿野しのぶ著	A5判	542頁	[品切]
262	源氏物語の音楽と時間	森野正弘著	A5判	496頁	[品切]
263	源氏物語〈読み〉の交響Ⅱ	源氏物語を読む会編	A5判	350頁	[品切]
264	源氏物語の創作過程の研究	呉羽長著	A5判	384頁	[品切]
265	日本古典文学の方法	廣田收編	A5判	432頁	[品切]
266	信州松本藩崇教館と多湖文庫	鈴木俊幸・山本英二編	A5判	320頁	[品切]
267	テキストとイメージの交響 ― 物語性の構築をみる ―	井黒佳穂子著	A5判	388頁	[品切]

268	近世における『論語』の訓読に関する研究	石川洋子著	A5判	528頁	[品切]
269	うつほ物語と平安貴族生活 — 史実と虚構の織りなす世界 —	松野彩著	A5判	304頁	[品切]
270	『太平記』生成と表現世界	和田琢磨著	A5判	512頁	[品切]
271	王朝歴史物語史の構想と展望	加藤静子・桜井宏徳編	A5判	704頁	[品切]
272	森嶋外『舞姫』本文と索引	杉本完治編著	A5判	264頁	[品切]
273	記紀風土記論考	神田典城著	A5判	480頁	[品切]
274	江戸後期紀行文学全集 — 第三巻 —	津本信博著	A5判	288頁	[品切]
275	奈良絵本絵巻抄	松田存著	A5判	276頁	[品切]
276	女流日記文学論輯	宮崎莊平著	A5判	928頁	[品切]
277	中世古典籍之研究 — どこまで書物の本姿に迫れるか —	武井和人著	A5判	688頁	[品切]
278	愚問賢注古注釈集成	酒井茂幸著	A5判	460頁	[品切]
279	萬葉歌人の伝記と文芸	川上富吉著	A5判	416頁	[品切]
280	菅茶山とその時代	小財陽平著	A5判	496頁	[品切]
281	根岸短歌会の証人 桃澤茂春 — 『庚子日録』『曾我蕭白』 —	桃澤匡行著	A5判	408頁	[品切]
282	平安朝の文学と装束	畠山大二郎著	A5判	400頁	12650円
283	古事記構造論 — 大和王権の〈歴史〉 —	藤澤友祥著	A5判	256頁	[品切]
284	源氏物語 草子地の考察 — 「桐壺」～「若紫」	佐藤信雅著	A5判	344頁	[品切]
285	山鹿文庫本発心集 — 影印と翻刻 付 解説 —	神田邦彦著	A5判	432頁	13640円
286	古事記續考と資料	尾崎知光著	A5判	224頁	[品切]
287	古代和歌表現の機構と展開	津田大樹著	A5判	432頁	[品切]
288	平安時代語の仮名文研究	阿久澤忠著	A5判	440頁	[品切]
289	芭蕉の俳諧構成意識 — 其角・蕪村との比較を交えて —	大城悦子著	A5判	528頁	[品切]
290	二松學舎大学附属図書館蔵 奈良絵本 保元物語 平治物語	小井土守敏監修	A5判	358頁	[品切]
291	未刊 江戸歌舞伎年代記集成	倉橋・桑原・小池・齊藤・光延編	A5判	966頁	30800円
292	物語展開と人物造型の論理 — 源氏物語 〈二層〉 構造論 —	中井賢一著	A5判	400頁	12650円
293	源氏物語の思想史的研究 — 妄語と方便 —	佐藤勢紀子著	A5判	272頁	8580円
294	春画論 — 性表象の文化学	鈴木堅弘著	A5判	608頁	19360円
295	『源氏物語』の罪意識の受容	古屋明子著	A5判	432頁	13860円
296	袖中抄の研究	紙宏行著	A5判	336頁	10670円
297	源氏物語の史的意識と方法	湯浅幸代著	A5判	400頁	12650円
298	増補 太平記と古活字版の時代	小秋元段著	A5判	432頁	13860円
299	源氏物語 草子地の考察2 — 「未摘花」～「花宴」	佐藤信雅著	A5判	408頁	[品切]
300	連歌という文芸とその周辺 — 連歌・俳諧・和歌論 —	廣木一人著	A5判	472頁	15070円
301	日本書紀典拠論	山田純著	A5判	400頁	12980円
302	源氏物語と漢世界	飯沼清子著	A5判	468頁	15180円
303	中近世中院家における百人一首注釈の研究	酒井茂幸著	A5判	568頁	18150円
304	日本語基幹構文の研究	半藤英明著	A5判	248頁	7920円
305	太平記における白氏文集受容	金木利憲著	A5判	376頁	12100円
306	物語文学の生成と展開 — 伊勢・大和とその周辺 —	柳田忠則著	A5判	660頁	22000円

307	源氏物語 読解と享受資料考	妹尾好信著	A5判	640頁	20240円
308	中世文学の思想と風土	石黒吉次郎著	A5判	368頁	11660円
309	江戸期の広域出版流通	大和博幸著	A5判	448頁	〔品切〕
310	源氏物語 引用とゆらぎ	中西智子著	A5判	344頁	11000円
311	うつほ物語の長編力	本宮洋幸著	A5判	304頁	〔品切〕
312	続・王朝文学論 ― 解釈的発見の手法と論理 ―	坪美奈子著	A5判	704頁	22550円
313	新撰類聚往来 影印と研究	高橋忠彦・高橋久子編著	A5判	784頁	25300円
314	『とりかへばや』の研究 ― 変奏する物語世界 ―	片山ふゆき著	A5判	256頁	8140円
315	王朝物語の表現生成 ― 源氏物語と周辺の文学	末澤明子著	A5判	480頁	15400円
316	水鏡の成立と構造	勝倉壽一著	A5判	352頁	11110円
317	源氏物語と周辺文芸の研究	山上義実著	A5判	400頁	12760円
318	『夜の寢覚』から読む物語文学史	伊勢光著	A5判	400頁	12760円
319	和泉式部の方法試論	久保木寿子著	A5判	616頁	19800円
320	八百屋お七論 近代文学の物語空間	丹羽みさと著	A5判	264頁	8470円
321	民間説話と『宇治拾遺物語』	廣田收著	A5判	592頁	18920円
322	神仏習合の手法 ― 中世神話から近世神話へ ―	吉田唯著	A5判	416頁	13310円
323	語彙・語法から見た四鏡の文章	小久保崇明著	A5判	304頁	9570円
324	『源氏物語』の光と影	西田禎元著	A5判	496頁	16280円
325	源氏物語〈読み〉の交響 III	源氏物語を読む会編	A5判	736頁	23540円
326	徒然草 人物考証の新研究	上島眞智子著	A5判	320頁	10230円
327	金時習『金鰲新話』と日本 ― 和刻本と受容	邊恩田著	A5判	272頁	9020円
328	校本石清水物語	宮崎裕子著	A5判	688頁	22550円
329	『源氏物語』庭と邸宅 ― 想定配置図私案 ―	加藤伸江著	A5判	352頁	11220円
330	伊勢物語 色好みの享受史	瀬尾博之著	A5判	352頁	11000円
331	源氏物語 現代語訳書誌集成	佐藤由佳著	A5判	328頁	10560円
332	蜻蛉日記上巻前半部研究	堤和博著	A5判	432頁	13750円
333	元亨釈書全訳注 上	今浜通隆著	A5判	760頁	24750円
334	源氏物語論攷	上野辰義著	A5判	416頁	13200円
335	校本 懷風藻	土佐朋子編著	A5判	456頁	15400円
336	日本古典文学における孝文化 ―『源氏物語』を中心として―	趙秀全著	A5判	424頁	13750円
337	幕末維新期の近藤芳樹 ― 和歌活動とその周辺	小野美典著	A5判	584頁	18700円
338	『扶桑略記』の研究	扶桑略記を読む会編	A5判	296頁	9460円
339	ユーラシア文化の中の 纏向・忌部・邪馬台国	山口博著	A5判	472頁	15180円
340	校本 式子内親王集	武井和人編著	A5判	728頁	23650円
341	続近世類題集の研究 ― 和歌曼陀羅の世界 ―	三村晃功著	A5判	608頁	19580円
342	『源氏物語』の解釈学 関河眞克・櫛井亜依・廣田收・風岡むつみ著		A5判	256頁	8250円
343	禁裏本歌書の書誌学的研究 ― 蔵書史と古典学	酒井茂幸著	A5判	904頁	29700円
344	歌・呪術・儀礼の東アジア	山田直巳編著	A5判	544頁	17600円
345	日本古典文学の研究	日本古典文学研究会編	A5判	320頁	10340円

346	伊勢物語考Ⅱ ―― 東国と歴史的背景	内田美由紀著	A5判	372頁	12320円
347	王朝文学の〈旋律〉	伊藤禎子・勝亦志織編	A5判	360頁	11660円
348	『源氏物語』明石一族物語論 ― 形成と主題 ―	神原勇介著	A5判	320頁	10230円
349	歌物語史から見た伊勢物語	宮谷聡美著	A5判	368頁	11880円
350	元亨釈書全訳注 中	今浜通隆著	A5判	996頁	32450円
351	室町期浄土僧 聖聡の談義と説話	上野麻美著	A5判	288頁	9240円
352	堤中納言物語論 読者・諧謔・模倣	陣野英則著	A5判	320頁	10450円

古代中世文学論考（古代中世文学論考刊行会編）

継続刊行中

23	第23集	A5判	288頁	6710円	35	第35集	A5判	304頁	6930円
24	第24集	A5判	320頁	7040円	36	第36集	A5判	304頁	7040円
25	第25集	A5判	320頁	7040円	37	第37集	A5判	296頁	6820円
26	第26集	A5判	368頁	8030円	38	第38集	A5判	376頁	8360円
27	第27集	A5判	320頁	7040円	39	第39集	A5判	288頁	6710円
28	第28集	A5判	288頁	6710円	40	第40集	A5判	320頁	7040円
29	第29集	A5判	320頁	7040円	41	第41集	A5判	280頁	6710円
30	第30集	A5判	280頁	6710円	42	第42集	A5判	280頁	6710円
31	第31集	A5判	272頁	6600円	43	第43集	A5判	320頁	7040円
32	第32集	A5判	264頁	6490円	44	第44集	A5判	280頁	6710円
33	第33集	A5判	288頁	6710円	45	第45集	A5判	280頁	6710円
34	第34集	A5判	336頁	7370円	46	第46集	A5判	380頁	8470円

和歌文学注釈叢書

編集委員 浅田徹・久保木哲夫・竹下豊・谷知子

全3巻揃 33000円 分売可

1	元良親王集全注釈	片桐洋一・関西私家集研究会	A5判	304頁	9900円
2	大斎院御集全注釈	石井文夫・杉谷寿郎	A5判	320頁	11000円
3	肥後集全注釈	久保木哲夫・平安私家集研究会	A5判	352頁	12100円

新典社注釈叢書

継続刊行中

菅家後集	叙意一百韻全注釈	今浜通隆注釈	A5判	712頁	22000円
『古今和歌集』	巻二十 ― 注釈と論考 ―	久喜の会編	A5判	436頁	14300円
本朝麗藻全注釈一		今浜通隆注釈	A5判	424頁	18689円
本朝麗藻全注釈二		今浜通隆注釈	A5判	560頁	〔品切〕
本朝麗藻全注釈三		今浜通隆注釈	A5判	624頁	19360円

本朝麗藻全注釈四

世俗諺文全注釈

新撰朗詠集全注釈一

新撰朗詠集全注釈二

新撰朗詠集全注釈三

新撰朗詠集全注釈四

天草版伊曾保物語 影印及び全注釈
言葉の和らげ 影印及び翻刻翻訳

全釈続みなしぐり

柳宗元古文注釈 ― 説・伝・騒・弔 ―

今浜通隆注釈 A5判 636頁 19800円

濱田寛注釈 A5判 720頁 23100円

柳澤良一注釈 A5判 614頁 19800円

柳澤良一注釈 A5判 672頁 21340円

柳澤良一注釈 A5判 664頁 21340円

柳澤良一注釈 A5判 640頁 20350円

江口正弘編 A5判 480頁 15180円

田中善信注釈 A5判 368頁 12100円

竹田晃編 A5判 512頁 17380円

青表紙本 源氏物語（全五十四帖別冊二）

全56帖揃 60115円 分売可

1 桐 壺 山岸徳平校注 84頁 935円
2 帚 木 岸上慎二校注 156頁 1375円
3 空 蟬 藤岡忠美校注 40頁 550円
4 夕 顔 鈴木知太郎校注 158頁 1375円
5 若 紫 岡一男校注 160頁 1375円
6 末摘花 石川徹校注 104頁 1100円
7 紅葉賀 今井卓爾校注 80頁 880円
8 花 宴 上坂信男校注 40頁 550円
9 葵 高崎正秀校注 144頁 1210円
10 賢 木 松村博司校注 150頁 1320円
11 花散里 松村博司校注 22頁 550円
12 須 磨 松尾聡校注 116頁 1100円
13 明 石 臼田甚五郎校注 128頁 1155円
14 滢 標 曾沢太吉校注 110頁 1100円
15 蓬 生 寺本直彦校注 96頁 1045円
16 閑 屋 稲賀敏二校注 26頁 550円
17 絵 合 稲賀敏二校注 70頁 770円
18 松 風 片桐洋一校注 72頁 770円
19 薄 雲 清水文雄校注 102頁 1100円
20 槿 上村悦子校注 72頁 770円
21 乙 女 森岡常夫校注 148頁 1320円
22 玉 鬘 玉上琢弥校注 144頁 1320円
23 初 音 中田剛直校注 60頁 715円
24 胡 蝶 仲田庸幸校注 76頁 825円
25 螢 安川定男校注 64頁 715円

26 常 夏 橋本不美男校注 80頁 880円
27 篝 火 今泉忠義校注 18頁 550円
28 野 分 今泉忠義校注 56頁 660円
29 行 幸 南波浩校注 104頁 1100円
30 藤 袴 迫徹朗校注 56頁 605円
31 真木柱 今井源衛校注 116頁 1100円
32 梅ヶ枝 目加田さくを校注 68頁 770円
33 藤裏葉 池田弥三郎校注 84頁 935円
34 若菜上 村井順校注 322頁 1980円
35 若菜下 石田穰二校注 348頁 1980円
36 柏 木 桜井祐三校注 136頁 1320円
37 横 笛 高橋和夫校注 64頁 715円
38 鈴 虫 菊田茂男校注 60頁 715円
39 夕 霧 神作光一校注 228頁 1870円
40 御 法 清水好子校注 72頁 770円
41 幻 鈴木一雄校注 64頁 715円
42 匂 宮 犬養廉校注 52頁 605円
43 紅 梅 高橋正治校注 44頁 550円
44 竹 河 桑原博史校注 124頁 1155円
45 橋 姫 秋山虔校注 120頁 1100円
46 椎 本 野口元大校注 124頁 1155円
47 総 角 阪倉篤義校注 316頁 1980円
48 早 蕨 吉岡曠校注 64頁 715円
49 宿 木 大朝雄二校注 256頁 1980円
50 東 屋 喜多義勇校注 184頁 1650円

51 浮 舟 阿部秋生校注 192頁 1650円
 52 蜻 蛉 多屋頼俊校注 168頁 1540円
 53 手 習 池田勉校注 200頁 1760円
 54 夢の浮橋 長谷章久校注 64頁 715円

55 山路の露・雲隠六帖 山岸徳平・今井源衛編 138頁 1210円
 56 源氏物語解題 山岸徳平・今井源衛著 136頁 1210円

影印本シリーズ

継続刊行中

仮名変体集	伊地知鉄男編	B6判	64頁	385円
実用変体がな	かな研究会編	A5判	112頁	660円
画引き かな解読字典	かな研究会編	A5判	112頁	660円
画引き くずし字解読字典 — 増補改訂・索引付 —	くずし字研究会編	A5判	128頁	880円
古筆切で読む くずし字練習帳	小島孝之著	B5判	64頁	1100円
変体がなで読む日本の古典	田代圭一・山中悠希・和田琢磨編	A4判	80頁	1100円
万葉集略解抄 (影印本)	川上富吉編	A5判	160頁	1760円
影印本 万葉新採百首解	鈴木淳・吉村誠編	A5判	208頁	2030円
竹取物語 (影印本) 別冊解説付	片桐洋一編	B5判 枳形	104頁	1100円
影印本 土左日記 (新訂版)	萩谷朴編	A5判	112頁	880円
影印本 伊勢物語	片桐洋一編	A5判	164頁	1210円
変体仮名で読む 源氏物語全和歌	井上八雲編・中田武司監修	B5判	240頁	4180円
ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「須磨」	伊藤欽也編	A5判	186頁	1760円
ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「蜻蛉」	伊藤欽也編	A5判	210頁	1980円
国立歴史民俗博物館蔵『源氏物語』「鈴虫」	伊藤欽也・阿部江美子・浅川槇子編	A5判	154頁	1980円
国文学研究資料館蔵 橋本本『源氏物語』「若紫」	伊藤欽也・浅川槇子編	A5判	178頁	1540円
影印本 和泉式部物語	鈴木一雄・伊藤博編	A5判	112頁	1100円
影印本 更級日記	犬養廉編	A5判	208頁	1430円
影印本 定家歌論集	田中裕編	A5判	102頁	1100円
影印本 百人一首	有吉保・犬養廉・橋本不美男編	A5判	80頁	825円
影印本 鳴の羽搔	川平ひとし・大伏春美編	A5判	288頁	2200円
影印本 連歌作品集	廣木一人編	A5判	128頁	1430円
影印本 元禄版猿蓑 — 『猿蓑箋註』 翻刻付 —	雲英・佐藤編	A5判	192頁	2030円
影印本 曾根崎心中 — 加賀掾直伝 —	森修編	A5判	74頁	825円
影印本 心中重井筒・今宮の心中	景山正隆編	A5判	168頁	1430円

影印校注古典叢書

継続刊行中

万葉集 巻一・二	桜井満・並木宏衛校注	A5判	112頁	1210円
伊勢物語	小林茂美校注	A5判	184頁	1870円

古今集一	橘りつ校注	A5判	144頁	1430円
桐 壺	山岸徳平校注	A5判	80頁	935円
帚 木	犬養廉・奥出文子校注	A5判	144頁	1375円
若紫・末摘花	有吉保・安藤亨子校注	A5判	232頁	1980円
紅葉賀・花宴・葵	神作光一・遠藤和夫校注	A5判	236頁	1980円
須磨・明石	橘誠校注	A5判	224頁	1980円
濡標・蓬生・関屋	守屋省吾校注	A5判	208頁	1870円
絵合・松風・薄雲	野口元大校注	A5判	220頁	1980円
槿・乙女	武山隆昭校注	A5判	206頁	1870円
玉鬘・初音	小山利彦校注	A5判	184頁	1870円
篝火・野分・行幸・藤袴	中田武司校注	A5判	200頁	1870円
柏 木	岡野道夫校注	A5判	126頁	1210円
橋姫・椎本	森本元子校注	A5判	224頁	2136円
和泉式部日記	平田喜信校注	A5判	124頁	1320円
大鏡（上中下）	小久保崇明校注	A5判	上136頁/1320円・中176頁/1760円・下168頁/1650円	
堤中納言物語（上下）	塚原欽雄・神尾暢子校注	A5判	上112頁/1100円・下152頁/1320円	
百人一首（兼載筆）	有吉保・犬養廉・橋本不美男校注	A5判	64頁	770円
小倉山庄色紙和歌（百人一首古注）	有吉保・神作光一校注	A5判	168頁	1540円
大福光寺本 方丈記	小内一明校注	A5判	112頁	1210円
春のみやまち	渡辺静子校注	A5判	216頁	1980円
十六夜日記	一瀬幸子・江口正弘・長崎健校注	A5判	96頁	1100円
お伽草子一 およのの尼・玉もの前	西沢正二・石黒吉次郎校注	A5判	112頁	1210円

新典社校注叢書

継続刊行中

校注 万葉集筑紫篇	林田正男編	B6判	272頁	2090円
校注 大和物語	柳田忠則編	B6判	216頁	1760円
校注 紫式部日記	萩谷朴編	B6判	160頁	1650円
校注 更級日記	小谷野純一編	B6判	168頁	1870円
校注 狭衣物語 巻一・巻二	久下晴康・堀口悟編	B6判	224頁	1870円
校注 讃岐典侍日記	小谷野純一編	B6判	160頁	1815円
校注 堤中納言物語	大倉比呂志編	B6判	136頁	1485円
校注 とはづがたり	松村雄二編	B6判	272頁	2200円
校注 風に紅葉	大倉比呂志・鈴木泰恵編	B6判	128頁	1408円
校注 方丈記・徒然草	長崎健・桑原博史編	B6判	224頁	1870円

1 徒然草	B6判	528頁	4180円	4 曾我物語 中	B6判	560頁	4510円
2 詞花和歌集	B6判	328頁	2750円	5 曾我物語 下	B6判	512頁	4070円
3 曾我物語 上	B6判	432頁	3520円				

新講古典文法	塚原欽雄著	A5判	144頁	1430円
日本古典 文・和歌・文章の構造	中村幸弘・碁石雅利著	A5判	282頁	2970円
中級からの日本語 — 読解中心 —	池田重監修	B5判	本文192頁 別冊 24頁	2200円
日本語リテラシー	伊藤善隆・小森潔監修	B5判	64頁	1100円
漢文文型 訓読の語法	中村幸弘・杉本完治著	A5判	392頁	4180円
古典文学概論 — キーワードで読む原典 —	竹尾・本間・濱中・安保編	A5判	272頁	2618円
作品中心 日本文学史	山岸徳平編	A5判	228頁	1100円
日本文学研究のために ——	山岸徳平編	A5判	192頁	1320円
日本詩歌選〔改訂版〕	古典和歌研究会編	A5判	248頁	1100円
女流の文学 — 古典編 —	青木・糸賀・井上・木村・濱口・藤平・森本編	A5判	256頁	1760円
古事記歌謡注釈 歌謡の理論から読み解く古代歌謡の全貌	辰巳正明監修	A5判	288頁	2860円
懐風藻 古代日本漢詩を読む	辰巳正明著	A5判	392頁	3960円
新注 源氏物語抄	久下晴康・元吉進編	A5判	192頁	1760円
編年 中世の文学 — 中世文学小事典 —	浅見・天野・小島・田村編	A5判	320頁	2200円
俊寛 — 平家・謡曲・浄瑠璃 —	景山正隆・松崎仁編	A5判	160頁	1430円
芭蕉・近松・西鶴	峯岸義秋・扇畑忠雄・片野達郎編	A5判	174頁	1100円
影印版頭注付 西鶴の世界Ⅰ 雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又編		A5判	128頁	1430円
影印版頭注付 西鶴の世界Ⅱ 雲英・谷脇・伊藤・井上・佐藤・二又編		A5判	128頁	1430円
史館茗話	本間洋一編	A5判	192頁	2090円
連句の世界	佐藤勝明・竹下義人・谷地快一・宮脇真彦編	A5判	128頁	1430円
新版 作品で読む明治文学	京都橘大学日本語日本文学科編	A5判	122頁	1210円
新版 作品で読む宮沢賢治	京都橘大学日本語日本文学科編	A5判	88頁	1100円
新版 作品で読む20世紀の日本文学	京都橘大学日本語日本文学科編	A5判	88頁	1100円
注釈『晩年』抄	赤木孝之編	A5判	224頁	1923円
日本文学検定公式問題集〔古典・近現代〕3級	日本文学検定委員会編	A5判	256頁	1650円
日本文学検定公式問題集〔古典〕2級	日本文学検定委員会編	A5判	352頁	2200円
日本文学検定公式問題集〔近現代〕2級	日本文学検定委員会編	A5判	368頁	2200円
学ぶ前にふれる 実践中国語練習帳	野村幸一郎監修・丁若思著	A4判	96頁	1320円

日本の作家

蜻蛉日記作者 右大将道綱母	増田繁夫著	B6判	272頁	1870円
感性のきらめき 清少納言	藤本宗利著	B6判	272頁	2310円
源氏の作者 紫式部	稲賀敬二著	B6判	272頁	1870円
誇り高く歌に生きた 藤原俊成女	神尾暢子著	B6判	256頁	2200円
残照の中の巨樹 正 徹	村尾誠一著	B6判	272頁	2420円
人生の達人 兼好法師	桑原博史著	B6判	248頁	1760円
元禄の奇才 宝井其角	田中善信著	B6判	240頁	2046円
自然主義作家 田山花袋	小林一郎著	B6判	280頁	1980円
名づけ得ぬものへ 中原中也	岡崎和夫著	B6判	352頁	3080円
豊饒なる仮面 三島由紀夫	井上隆史著	B6判	256頁	2200円

女性作家評伝シリーズ

編集委員 尾形明子・小林富久子・長谷川啓

継続刊行中

樋口一葉	増田みず子著	B6判	232頁	〔品切〕
與謝野晶子	渡邊澄子著	B6判	232頁	〔品切〕
野上彌生子	藪禎子著	B6判	272頁	2200円
岡本かの子	三枝和子著	B6判	160頁	〔品切〕
尾崎翠 —『第七官界彷徨』の世界—	水田宗子著	B6判	176頁	〔品切〕
宇野千代	尾形明子著	B6判	288頁	2310円
宮本百合子	岩淵宏子著	B6判		〔未刊〕
平林たい子	中山和子著	B6判	192頁	1650円
林芙美子	中沢けい著	B6判		〔未刊〕
円地文子 —ジェンダーで読む作家の生と作品—	小林富久子著	B6判	288頁	〔品切〕
壺井栄	小林裕子著	B6判	288頁	2310円
幸田文	由里幸子著	B6判	208頁	1650円

新典社選書

継続刊行中

1 変容する物語	久下裕利著	B6判	176頁	〔品切〕
2 高村光太郎の世界	請川利夫著	B6判	176頁	〔品切〕
3 小野小町攻究	三善貞司著	B6判	264頁	〔品切〕
4 文学の回廊 —旅・歌・物語—	島内景二著	B6判	176頁	〔品切〕
5 中山義秀の歴史小説	三瓶達司著	B6判	176頁	〔品切〕
6 新古今集詞書論	武井和人著	B6判	184頁	〔品切〕

7	高村光太郎のパリ・ロンドン	請川利夫・野末明著	B6判	272頁	〔品切〕
8	狐の文学史	星野五彦著	B6判	216頁	〔品切〕
9	源氏から平家へ	横井孝編	B6判	192頁	〔品切〕
10	源氏物語の受容 ― 現代作家の場合 ―	呉羽長著	B6判	224頁	〔品切〕
11	ことば遊びの文学史	小野恭靖著	B6判	272頁	〔品切〕
12	歌垣と神話をさかのぼる 少数民族文化としての日本古代文学	工藤隆著	B6判	256頁	〔品切〕
13	西脇順三郎の研究 ― 『旅人かへらず』とその前後 ―	芋生裕信著	B6判	208頁	〔品切〕
14	徐福論 ― いまを生きる伝説 ―	達志保著	B6判	272頁	〔品切〕
15	ことば遊びの世界	小野恭靖著	B6判	224頁	1760円
16	香椎からプロヴァンスへ ― 松本清張の文学 ―	加納重文著	B6判	320頁	〔品切〕
17	陽成院 ― 乱行の帝 ―	山下道代著	B6判	192頁	〔品切〕
18	近代高野山の学問 ― 遍照尊院榮秀事績考	三輪正胤著	B6判	224頁	〔品切〕
19	国際学術シンポジウム 源氏物語と和歌世界	青山学院大学文学部日本文学科編	B6判	196頁	〔品切〕
20	蜻蛉日記の養女迎え	倉田実著	B6判	260頁	〔品切〕
21	国際学術シンポジウム 海を渡る文学 ― 日本と東アジアの物語・詩・絵画・芸能 ―	青山学院大学文学部日本文学科編	B6判	196頁	〔品切〕
22	郷歌 ―― 注解と研究	中西進・辰巳正明編	B6判	272頁	1980円
23	晶子の美学 ―― 珠玉の百首鑑賞	荻野恭茂著	B6判	144頁	1386円
24	万葉集宮廷歌人全注釈 ― 虫麻呂・赤人・金村・千年 ―	濱口博章著	B6判	272頁	2200円
25	女流歌人 中務 ― 歌で伝記を辿る ―	稲賀敬二著	B6判	384頁	3080円
26	菫萱道心と石童丸のゆくえ ― 古典世界から現代へ ―	三野恵著	B6判	144頁	1386円
27	江戸の恋の万華鏡 ―― 『好色五人女』	竹野静雄著	B6判	256頁	1870円
28	王朝摂関期の「妻」たち ―― 平安貴族の愛と結婚	園明美著	B6判	112頁	〔品切〕
29	万葉 恋歌の装い	菊池威雄著	B6判	208頁	1540円
30	文明批評の系譜 ― 文学者が見た明治・大正・昭和の日本 ―	和田正美著	B6判	208頁	1540円
31	毛髪で縫った曼荼羅 ― 漂泊僧 空念の物語 ―	日沖敦子著	B6判	188頁	1650円
32	あらずじで楽しむ源氏物語	小町谷照彦著	B6判	224頁	1760円
33	「いろはかるた」の世界	吉海直人著	B6判	198頁	1760円
34	土屋文明私論 ― 歌・人・生 ―	宮崎莊平著	B6判	260頁	2310円
35	宇治拾遺物語のたのしみ方	伊東玉美著	B6判	176頁	1430円
36	更級日記への視界	小谷野純一著	B6判	368頁	2970円
37	古典和歌の世界 ― 歌題と例歌（証歌）鑑賞 ―	三村晃功著	B6判	256頁	1870円
38	沖繩 備瀬 ― あの世につながる聖空間 ―	中畑充弘著	B6判	192頁	1540円
39	島瓦の考古学 ― 琉球と瓦の物語 ―	石井龍太著	B6判	212頁	1980円
40	智恵子抄を読む	大島龍彦著	B6判	176頁	1430円
41	百人一首を読み直す ― 非伝統的表現に注目して ―	吉海直人著	B6判	264頁	2530円
42	『住吉物語』の世界	吉海直人著	B6判	276頁	2640円
43	讃岐典侍日記への視界	小谷野純一著	B6判	368頁	2970円
44	『枕草子』をどうぞ ― 定子後宮への招待 ―	藤本宗利著	B6判	176頁	1430円
45	窪田空穂と万葉集 ― 亡き母挽歌と富士関係歌 ―	鈴木武晴著	B6判	320頁	2640円

46	これならわかる漢文の送り仮名 — 入門から応用まで —	古田島洋介著	B6判	208頁	1650円
47	国学史再考 — のぞきからくり本居宣長 —	田中康二著	B6判	256頁	1980円
48	「一分」をつらぬいた侍たち — 『武道伝来記』のキャラクター	岡本隆雄著	B6判	208頁	1650円
49	芭蕉の学力	田中善信著	B6判	160頁	1210円
50	大道具で楽しむ日本舞踊	中田節著	B6判	240頁	2200円
51	宮古の神々と聖なる森	平井芽阿里著	B6判	272頁	2200円
52	式子内親王 —— その生涯と和歌	小田剛著	B6判	176頁	1430円
53	古典和歌の文学空間 — 歌題と例歌（証歌）からの鳥瞰 —	三村晃功著	B6判	448頁	3520円
54	物語のいでき始めのおや —— 『竹取物語』入門	原國人著	B6判	160頁	1210円
55	家集の中の「紫式部」	廣田收著	B6判	256頁	1980円
56	森嶋外 永遠の問いかけ	杉本完治著	B6判	300頁	2420円
57	京都のくるわ — 生命を更新する祭りの場 —	田口章子編	B6判	192頁	1540円
58	方丈記と往生要集	鈴木久著	B6判	128頁	1100円
59	古典和歌の時空間 — 「由緒ある歌」をめぐる —	三村晃功著	B6判	288頁	2310円
60	作品の表現の仕組み — 古典と現代 散策 —	大木正義著	B6判	176頁	1430円
61	鎌倉六代將軍宗尊親王 — 歌人將軍の栄光と挫折 —	菊池威雄著	B6判	224頁	1760円
62	『こころ』の真相 漱石は何をたくらんだのか	柳澤浩哉著	B6判	256頁	1980円
63	続・古典和歌の時空間 — 長流と契沖の「由緒ある歌」の展望 —	三村晃功著	B6判	416頁	3410円
64	白洲正子 —— 日本文化と身体	野村幸一郎著	B6判	208頁	1650円
65	女たちの光源氏	久保朝孝編	B6判	208頁	1650円
66	江戸時代落語家列伝	中川桂著	B6判	240頁	1870円
67	能のうた — 能楽師が読み解く遊楽の物語 —	鈴木啓吾著	B6判	400頁	3520円
68	古典和歌の詠み方読本 — 有賀長伯編著『和歌八重垣』の文学空間 —	三村晃功著	B6判	352頁	2860円
69	役行者のいる風景 — 寺社伝説探訪 —	志村有弘著	B6判	120頁	1100円
70	澁川春海と谷重遠 — 双星煌論 —	志水義夫著	B6判	192頁	1540円
71	文豪の漢文旅日記 —— 嶋外の渡欧、漱石の房総	森岡ゆかり著	B6判	292頁	2530円
72	リアルなイーハトーヴ — 宮沢賢治が求めた空間 —	人見千佐子著	B6判	320頁	2530円
73	義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎	田中徳定著	B6判	272頁	2200円
74	日本近代文学はアジアをどう描いたか	野村幸一郎著	B6判	256頁	1980円
75	神に仕える皇女たち — 斎王への誘い —	原横子著	B6判	224頁	1760円
76	三島由紀夫『豊饒の海』VS 野間宏『青年の環』—— 戦後文学と全体小説	井上隆史著	B6判	192頁	1540円
77	明治、このフシギな時代	矢内賢二編	B6判	208頁	1650円
78	三島由紀夫の源流	岡山典弘著	B6判	256頁	1980円
79	ゴジラ傳 — 怪獣ゴジラの文藝学 —	志水義夫著	B6判	240頁	1870円
80	説話の中の僧たち	京都仏教説話研究会編	B6判	328頁	2640円
81	古典の叡智 —— 老いを愉しむ	小野恭靖著	B6判	240頁	1870円
82	『源氏物語』の特殊表現	吉海直人著	B6判	304頁	2420円
83	これならわかる復文の要領 — 漢文学習の裏技 —	古田島洋介著	B6判	328頁	2640円
84	明治、このフシギな時代 2	矢内賢二編	B6判	128頁	1100円

85	源氏物語とシェイクスピア — 文学の批評と研究と — 廣田収・勝山貴之著	B6判	232頁	1870円
86	下級貴族たちの王朝時代 『新猿蓑記』に見るさまざまな生き方 繁田信一著	B6判	200頁	1650円
87	新版 宮崎駿の地平 ナウシカからもののけ姫へ 野村幸一郎著	B6判	208頁	1650円
88	宮崎駿が描いた少女たち 野村幸一郎編	B6判	240頁	1870円
89	向田邦子文学論 向田邦子研究会編	B6判	480頁	3850円
90	歌舞伎を知れば日本がわかる 田口章子著	B6判	224頁	1760円
91	明治、このフシギな時代 3 矢内賢二編	B6判	192頁	1540円
92	ゆく河の水に流れて — 人と水が織りなす物語 — 山岡敬和著	B6判	296頁	2310円
93	『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋 — 朝顔の姫君と夕顔の女君 — 小澤洋子著	B6判	240頁	1870円
94	文体再見 半沢幹一著	B6判	272頁	2200円
95	続・能のうた — 能楽師が読み解く遊樂の物語 — 鈴木啓吾著	B6判	336頁	2970円
96	入門 平安文学の読み方 保科恵著	B6判	208頁	1650円
97	百人一首を読み直す2 — 言語遊戯に注目して — 吉海直人著	B6判	312頁	2915円
98	戦場を発見した作家たち — 石川達三から林芙美子へ 蒲豊彦著	B6判	320頁	2585円
99	『建礼門院右京大夫集』の発信と影響 日記文学会中世分科会編	B6判	312頁	2530円
100	鳳朗と一茶、その時代 — 近世後期俳諧と地域文化 — 金田房子・玉城司編	B6判	376頁	3080円
101	賀茂保憲女 紫式部の先達 天野紀代子著	B6判	144頁	1210円
102	「宇治」豊饒の文学風土 — 成立と展開に迫る決定七稿 — 日本文学 風土学会 編	B6判	230頁	1848円
103	とびらをあける中国文学 — 日本文化の展望台 高芝麻子・遠藤星希・山崎藍・田中智行・馬場昭佐著	B6判	308頁	2530円
104	後水尾院時代の和歌 高梨素子著	B6判	264頁	2090円
105	鎌倉武士の和歌 — 雅のシルエットと鮮烈な魂 — 菊池威雄著	B6判	304頁	2420円
106	古典文学をどう読むのか — シェイクスピアと源氏物語と — 廣田収・勝山貴之著	B6判	256頁	2090円
107	東京裁判の思想課題 — アジアへのまなざし 野村幸一郎著	B6判	272頁	2200円
108	日本の恋歌とクリスマス — 短歌とJ-pop 中村佳文著	B6判	228頁	1870円
109	なぜ神楽は応仁の乱を乗り越えられたのか 中本真人著	B6判	184頁	1485円
110	女性死刑囚の物語 — 明治の毒婦小説と高橋お伝 — 板垣俊一著	B6判	240頁	1980円
111	古典の本文はなぜ揺らぎうるのか 武井和人著	B6判	256頁	1980円

新典社新書

継続刊行中

1	光源氏と夕顔 — 身分違いの恋 — 清水婦久子著	新書判	160頁	1100円
2	戦国時代の諏訪信仰 — 失われた感性・習俗 — 笹本正治著	新書判	160頁	1100円
3	〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉 井上泰至著	新書判	128頁	880円
4	のたれ死にでもよいではないか 志村有弘著	新書判	128頁	880円
5	源氏物語 — 語りのからくり 鷺山茂雄著	新書判	160頁	1100円
6	天皇と女性霊力 諏訪春雄著	新書判	128頁	880円

7	バタヴィアの貴婦人	白石広子著	新書判	160頁	1100円
8	死してなお求める恋心 ―「菟原娘子伝説」をめぐる―	廣川晶輝著	新書判	160頁	〔品切〕
9	酒とシャーマン ―『おもろさうし』を読む―	吉成直樹著	新書判	128頁	880円
10	喜界島・鬼の海域 ―キカイガシマ考―	福寛美著	新書判	128頁	880円
11	萬葉の散歩みち ―上巻―	廣岡義隆著	新書判	128頁	880円
12	萬葉の散歩みち ―下巻―	廣岡義隆著	新書判	128頁	880円
13	偽装の商法 ―西鶴と現代社会―	堀切実著	新書判	128頁	880円
14	待つ女の悲劇	大輪靖宏著	新書判	128頁	880円
15	源氏物語の季節と物語 ―その類型的表現―	渋谷栄一著	新書判	160頁	1100円
16	平家物語の死生学 ―上巻―	佐伯雅子著	新書判	128頁	880円
17	平家物語の死生学 ―下巻―	佐伯雅子著	新書判	128頁	880円
18	芭蕉 ―俳聖の実像を探る―	田中善信著	新書判	128頁	880円
19	光源氏とティータイム	岩坪健著	新書判	128頁	880円
20	ことば遊びへの招待	小野恭靖著	新書判	128頁	880円
21	武器で読む八犬伝	吉丸雄哉著	新書判	160頁	1100円
22	神の香り秘法の書 ―中国の摩崖石経・上―	北島信一著	新書判	160頁	1100円
23	都市空間の文学 ―藤原明衡と菅原孝標女―	深沢徹著	新書判	128頁	880円
24	百人一首かるたの世界	吉海直人著	新書判	160頁	1100円
25	これならわかる返り点 ―入門から応用まで―	古田島洋介著	新書判	128頁	880円
26	東アジアの文芸共和国 ―通信使・北学派・兼葭堂―	高橋博巳著	新書判	128頁	880円
27	歌垣 ―恋歌の奇祭をたずねて―	辰巳正明著	新書判	160頁	1100円
28	紫式部日記の世界へ	小谷野純一著	新書判	160頁	1100円
29	芝居にみる江戸のくらし	吉田弥生著	新書判	128頁	880円
30	我を絵に看る ―芭蕉の甲斐行―	楠元六男著	新書判	160頁	1100円
31	源氏物語 二つのゆかり ―継承の主題と変化―	熊谷義隆著	新書判	160頁	1100円
32	御家騒動の物語 ―中世から近世へ―	石黒吉次郎著	新書判	128頁	880円
33	礼法を伝えた男たち	綿拔豊昭著	新書判	128頁	880円
34	文豪だって漢詩をよんだ	森岡ゆかり著	新書判	128頁	880円
35	清少納言“受難”の近代 ―「新しい女」の季節に遭遇して―	宮崎莊平著	新書判	128頁	880円
36	男はつらいよ 推敲の謎	杉下元明著	新書判	160頁	1100円
37	古事記の仕組み ―王権神話の文芸―	志水義夫著	新書判	160頁	1100円
38	千と千尋の神話学	西條勉著	新書判	160頁	〔品切〕
39	『宇治拾遺物語』の中の昔話	廣田收著	新書判	160頁	〔品切〕
40	跳んだ『源氏物語』 ―死と哀悼の表現―	天野紀代子著	新書判	128頁	880円
41	和歌を力に生きる ―道綱母と蜻蛉日記―	堤和博著	新書判	160頁	1100円
42	「危機の時代」の沖繩 ―現代を写す鑑、十七世紀の琉球―	伊藤陽寿著	新書判	128頁	880円
43	神の香り秘法の書 ―中国の摩崖石経・下―	北島信一著	新書判	160頁	1100円
44	智恵子抄の光景	大島裕子著	新書判	128頁	880円
45	昔男の青春 ―『伊勢物語』初段～16段の読み方―	妹尾好信著	新書判	160頁	1100円

46	涙の美学 — 日本の古典と文化への架橋 —	榎本正純著	新書判	128頁	880円
47	琉球の恋歌 — 「恩納なべ」と「よしや思鶴」 —	福寛美著	新書判	128頁	880円
48	初代都太夫一中の浄瑠璃 — 音曲に生きた元住職 —	小俣喜久雄著	新書判	160頁	1100円
49	万葉集を訓んだ人々 — 「万葉文化学」のころみ —	城崎陽子著	新書判	128頁	880円
50	源氏物語 姫君のふるまい	太田敦子著	新書判	128頁	〔品切〕
51	アニメに息づく日本古典 — 古典は生きている —	山田利博著	新書判	128頁	880円
52	紫式部・定家を動かした物語 — 謙徳公の書いた豊蔭物語 —	堤和博著	新書判	160頁	〔品切〕
53	ことばと文字の遊園地	小野恭靖著	新書判	160頁	1100円
54	女神たちの中世物語	濱中修著	新書判	160頁	1100円
55	向田邦子の比喩トランプ	半沢幹一著	新書判	160頁	1100円
56	夜の海、永劫の海	福寛美著	新書判	128頁	880円
57	ウラ日本文学 — 古典文学の舞台裏 —	岩坪健著	新書判	128頁	880円
58	コロボックルとはだれか — 中世の千島列島とアイヌ伝説	瀬川拓郎著	新書判	128頁	880円
59	万葉集からみる「世界」	井上さやか著	新書判	160頁	1100円
60	つける 連歌作法閑談	鈴木元著	新書判	160頁	1100円
61	アイヌの沈黙交易 — 奇習をめぐる北東アジアと日本 —	瀬川拓郎著	新書判	128頁	880円
62	少年少女のクロニクル — セラムン、テツジン、ウルトラマン —	志水義夫著	新書判	128頁	880円
63	萬葉の散歩みち — 続 —	廣岡義隆著	新書判	128頁	880円
64	文豪たちの「？」な言葉	馬上駿兵著	新書判	128頁	880円
65	ぐすく造営のおもろ — 立ち上がる琉球世界 —	福寛美著	新書判	160頁	1100円
66	向田邦子の思い込みトランプ	半沢幹一著	新書判	128頁	880円
67	知ったか源氏物語	山田利博著	新書判	128頁	880円
68	宮廷の御神楽 — 王朝びとの芸能 —	中本真人著	新書判	160頁	1100円
69	京アニを読む	野村幸一郎著	新書判	160頁	1100円
70	〔文法〕であじわう名文	馬上駿兵著	新書判	128頁	880円
71	魔法少女まどか☆マギカ講義録 — メディア文藝への招待 —	志水義夫著	新書判	160頁	1100円
72	『源氏物語』女三の宮の〈内面〉	西原志保著	新書判	160頁	1100円
73	超口語訳 徒然草	濱田浩一郎著	新書判	128頁	880円
74	重箱の隅から読む名場面	馬上駿兵著	新書判	128頁	880円
75	戦国武将と能楽 — 信長・秀吉・家康 —	原田香織著	新書判	160頁	1100円
76	物語の中の京都	濱中修著	新書判	160頁	1100円
77	滑稽艶笑譚 — 江戸小咄を愉しむ	宮尾與男著	新書判	160頁	1100円
78	「令和」から読む万葉集	辰巳正明著	新書判	128頁	880円
79	平家物語とその周辺 — 女性たちの物語 —	濱中修著	新書判	160頁	1100円
80	向田邦子の末尾文トランプ	半沢幹一著	新書判	160頁	1100円
81	藤沢周平 とどめの一文	半沢幹一著	新書判	160頁	1100円
82	二・二六事件の思想課題 — 三島事件への道程	野村幸一郎著	新書判	160頁	1100円
83	《新明解》な 比喩づくし	はんだわかんいち著	新書判	160頁	1100円

人と書と 歴史人の直筆	田代圭一著	A5判	256頁	2530円
人と書とⅡ 歴史人の直筆	田代圭一著	A5判	216頁	2145円
人と書とⅢ 歴史人の直筆	田代圭一著	A5判	220頁	2200円
良寛 — 文人の書 —	萬羽啓吾著	A5判	256頁	4180円
奈良・京都 文学散歩	二松學舎大学文学部国文学科編	A5判	144頁	1320円
神奈川 文学散歩	二松學舎大学文学部国文学科編	A5判	144頁	1320円
東京 文学散歩	二松學舎大学文学部国文学科編	A5判	144頁	1320円
古典と歩く古都鎌倉	佐藤智広著	A5判	240頁	2420円
大人のまち歩き	秋山秀一著	A5判	232頁	1760円
鎌ヶ谷 まち歩きの楽しみ	秋山秀一著	A5判	160頁	1650円
ヨーロッパ観光事情 まち歩きの楽しみ	秋山秀一著	A5判	160頁	1650円
世界観光事情 まち歩きの楽しみ	秋山秀一著	A5判	208頁	2145円
表象のトランス・ジェンダー — 越境する性	安達太郎・野村幸一郎・林久美子編著	B6判	224頁	1760円
富士山と文学	石田千尋著	B6判	352頁	2805円
幻想と現実 — 日本古典文学の愉しみ —	板垣俊一著	B6判	240頁	1980円
東海の「道」から見た上代文学 — 東海・東山道を基軸に	佐藤隆編著	A5判	312頁	4290円
大和の古代文化	奈良県立万葉文化館編	B6判	232頁	1870円
萬葉集名花百種鑑賞	川上富吉編	A5判	224頁	3740円
東歌を読む 「歌路」の理論から読み解く東国の歌謡	辰巳正明著	A5判	336頁	3410円
大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人	辰巳正明著	A5判	256頁	2640円
大和物語文献集成	柳田忠則編	A5判	376頁	12320円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第1集	伊藤欽也編	A5判	272頁	2640円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第2集	伊藤欽也編	A5判	384頁	3300円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第3集	伊藤欽也編	A5判	336頁	2970円
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第4集	伊藤欽也編	A5判	372頁	3190円
平安貴族を襲う悪霊の風 — 『榮花物語』異聞 —	福寛美著	B6判	144頁	1320円
式子内親王全歌新釈	小田剛著	A5判	384頁	4070円
木曾義仲に出会う旅	伊藤悦子著	A5判	164頁	1980円
今日は一日、方丈記	磯水絵編	A5判	224頁	2200円
元禄名家句集略注 伊藤信徳篇	田中善信著	A5判	224頁	2200円
元禄名家句集略注 池西言水篇	田中善信著	A5判	404頁	3960円
元禄名家句集略注 山口素堂篇	田中善信著	A5判	200頁	1980円
元禄名家句集略注 小西来山篇	佐藤勝明著	A5判	296頁	2970円
元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇	玉城司・竹下義人・木下優著	A5判	496頁	4950円

元禄名家句集略注 椎本才鷹篇	佐藤勝明・永田英理・玉城司著	A5判	428頁	4290円
寺田洋祐 俳画集 蕪村・一茶に遊ぶ	寺田洋祐画	A5判	112頁	2530円
謎解き森嶋外	原國人著	B6判	296頁	2530円
岡倉天心の旅路	岡倉登志著	B6判	308頁	3080円
漱石最後の〈笑い〉『明暗』の凡常	細谷博著	四六判	256頁	1870円
松井石根 アジア主義論集	野村幸一郎編	A5判	292頁	9350円
土岐善麿と図書館	大伏春美・大伏節子編著	B6判	240頁	1870円
三浦綾子文学の本質と諸相	竹林一志著	A5判	320頁	3190円
物書き ブライ漢 杉田瑞子 秋田出身の芥川賞候補作家	石塚政吾著	A5判	304頁	3135円
謎解き富嶽百景	原國人著	B6判	184頁	1540円
『智恵子抄』の世界	大島龍彦・大島裕子編著	B6判	256頁	2090円
智恵子抄を歩く ― 素顔の智恵子 ―	大島裕子著	B6判	240頁	1980円
文学部のリアル、東アジアの人文学	江藤茂博編	A5判	216頁	2145円
東アジアの知 ― 文化研究の軌跡と展望 ―	中西進編	A5判	400頁	6380円
雀様が語る日本	崔吉城著	B6判	280頁	2310円
受容と創造における通態的連鎖 日仏翻訳学研究	ジュリー・ブロック編	A5判	460頁	5170円
B・H・チェンバレン/J・パチェラー アイヌ説話集 1888年の“幻の説話”	宮尾慈良編訳	A5判	200頁	2090円
はじめて学ぶ仏教 インド・中国編	有働智瑛著	A5判	256頁	1980円
教育改革のゆくえ ― 続・家庭は子どもの教育の原点 ―	中田雅敏著	B6判	256頁	1980円
親と子の人間関係 ― 幼児より青少年まで ―	中田雅敏著	新書判	176頁	1100円
忘れられた作家・忘れられない作品	中田雅敏著	B6判	336頁	2640円
理性と平和 ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ政治理論作品選集	ハルトムート・ゲールケン/デートレフ・ティール/中村博雄共編	A5判	256頁	2640円
技術と空想 ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ グロテスケ作品選集	ハルトムート・ゲールケン/デートレフ・ティール/山本順子/中村博雄共編	A5判	240頁	2530円
哲学とユーモア ザーロモ・フリートレンダー／ミュノーナ笑いの理論と実践作品選集	デートレフ・ティール/中村博雄共編	A5判	264頁	2750円
青桐 ― もの一言いはん ―	深澤邦弘編著	新書判	124頁	1100円
歌集 歩み来し方	宮崎莊平著	新書判	112頁	1100円
新 うたの神話学	福寛美著	新書判	128頁	1210円

— あ —

アイヌ説話集	11, 34
アイヌの沈黙交易【新書】	32
葵【青表紙本源氏物語】	35
青桐 - もの - 詞いはん -	34
明石【青表紙本源氏物語】	23
晶子の美学 - 珠玉の百首鑑賞【選書】	28
総角【青表紙本源氏物語】	23
槿【青表紙本源氏物語】	23
槿・乙女【影印校注古典叢書】	25
東歌を読む	3, 33
東屋【青表紙本源氏物語】	23
アニメに息づく日本古典【新書】	32
天草版伊曽保物語・言葉の和らげ【注釈叢書】	23
歌集 歩み来し方	34
あらすじで楽しむ源氏物語【選書】	28

— い —

十六夜日記【影印校注古典叢書】	25
和泉式部日記【影印校注古典叢書】	25
和泉式部の方法試論【研究叢書】	21
影印本 和泉式部物語	24
影印本 伊勢物語	24
伊勢物語【影印校注古典叢書】	24
伊勢物語 色好みの享受史【研究叢書】	21
伊勢物語考Ⅱ【研究叢書】	4, 22
「一分」をつらぬいた侍たち【選書】	29
「いろはかるた」の世界【選書】	28

— う —

浮舟【青表紙本源氏物語】	24
宇治拾遺物語のたのしみ方【選書】	28
「宇治」豊饒の文学風土【選書】	8, 30
薄雲【青表紙本源氏物語】	23

右大将道綱母【日本の作家】	27
歌垣 - 恋歌の奇祭をたずねて【新書】	31
歌・呪術・儀礼の東アジア【研究叢書】	3, 21
歌物語史から見た伊勢物語【研究叢書】	4, 22
空蟬【青表紙本源氏物語】	23
宇野千代【女性作家評伝】	27
梅ヶ枝【青表紙本源氏物語】	23
ウラ日本文学【新書】	32

— え —

絵合【青表紙本源氏物語】	23
絵合・松風・薄雲【影印校注古典叢書】	25
江戸時代落語家列伝【選書】	29
江戸の恋の万華鏡 - 『好色五人女』【選書】	28
役行者のいる風景【選書】	29

— お —

御家騒動の物語【新書】	31
王朝文学の〈旋律〉【研究叢書】	3, 22
王朝継子物語と力【研究叢書】	18
王朝物語の表現生成【研究叢書】	21
大鏡（上中下巻）【影印校注古典叢書】	25
大斎院御集全注釈【和歌文学注釈叢書】	22
大道具で楽しむ日本舞踊【選書】	29
大伴旅人 「令和」を開いた万葉集の歌人	33
岡倉天心の旅路	9, 34
沖縄 備瀬【選書】	28
小倉山庄色紙和歌【影印校注古典叢書】	25
お伽草子一【影印校注古典叢書】	25
男はつらいよ 推敲の謎【新書】	31
大人のまち歩き	33
乙女【青表紙本源氏物語】	23
親と子の人間関係	34
女たちの光源氏【選書】	29

— か —

懐風藻 古代日本漢詩を読む	26
校本 懐風藻【研究叢書】	21
篝火【青表紙本源氏物語】	23
篝火・野分・行幸・藤袴【影印校注古典叢書】	25
蜻蛉【青表紙本源氏物語】	24
蜻蛉日記上巻前半部研究【研究叢書】	21
家集の中の「紫式部」【選書】	29
柏木【青表紙本源氏物語】	23
柏木【影印校注古典叢書】	25
校注 風に紅葉	25
画引き かな解読字典【影印本】	24
神奈川 文学散歩	33
仮名変体集【影印本】	24
歌舞伎を知らば日本がわかる【選書】	30
鎌ヶ谷 まち歩きを楽しむ	33
鎌倉武士の和歌【選書】	6, 30
鎌倉六代将軍宗尊親王【選書】	29
神に仕える皇女たち【選書】	29
神の香り秘法の書 - 上・下 - 【新書】	31
賀茂保憲女 紫式部の先達【選書】	30
苅萱道心と石童丸のゆくえ【選書】	28
菅家後集 叙意一百韻全注釈【注釈叢書】	22
漢文文型 訓読の語法	26

— き —

喜界島・鬼の海域【新書】	31
「危機の時代」の沖縄【新書】	31
技術と空想	34
偽装の商法 - 西鶴と現代社会【新書】	31
木曾義仲に出会う旅	33
金時習『金鰲新話』と日本【研究叢書】	21
宮廷の御神楽 - 王朝びとの芸能 - 【新書】	32
宮廷御神楽芸能史【研究叢書】	19
京アニを読む【新書】	32
教育改革のゆくえ	34
京都のくろわ - 生命を更新する祭りの場 - 【選書】	29

今日は一日、方丈記	33
桐壺【青表紙本源氏物語】	23
桐壺【影印校注古典叢書】	25
禁裏本歌書の書誌学的研究【研究叢書】	7, 21

— く —

ぐすく造営のおもろ【新書】	32
画引き くずし字解読字典【影印本】	24
古筆切で読む くずし字練習帳	24
窪田空穂と万葉集【選書】	28

— け —

兼好法師【日本の作家】	27
元亨釈書全訳注 上中【研究叢書】	6, 21, 22
青表紙本 源氏物語 (全五十四帖別冊二)	23, 24
『源氏物語』明石一族物語論【研究叢書】	5, 22
源氏物語 引用とゆらぎ【研究叢書】	21
『源氏物語』女三の宮の〈内面〉【新書】	32
源氏物語解題【青表紙本源氏物語】	24
ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「蜻蛉」	24
源氏物語 - 語りのからくり【新書】	30
源氏物語 現代語訳書誌集成【研究叢書】	21
新注 源氏物語抄【活字本テキスト】	26
国立歴史民俗博物館蔵『源氏物語』「鈴虫」	24
ハーバード大学美術館蔵『源氏物語』「須磨」	24
変体仮名で読む 源氏物語全和歌	24
源氏物語と漢世界【研究叢書】	20
源氏物語 読解と享受資料考【研究叢書】	21
源氏物語とシェイクスピア【選書】	30
源氏物語と周辺文芸の研究【研究叢書】	21
『源氏物語』庭と邸宅【研究叢書】	21
『源氏物語』の解釈学【研究叢書】	4, 21
源氏物語の季節と物語【新書】	31
源氏物語の思想史的研究【研究叢書】	20
源氏物語の史的意識と方法【研究叢書】	20
『源氏物語』の罪意識の受容【研究叢書】	20
『源氏物語』の特殊表現【選書】	29
『源氏物語』の光と影【研究叢書】	21

源氏物語 二つのゆかり【新書】	31
源氏物語〈読み〉の交響Ⅲ【研究叢書】	21
源氏物語論攷【研究叢書】	21
『源氏物語』忘れ得ぬ初恋と懸隔の恋【選書】	30
幻想と現実 - 日本古典文学の愉しみ -	33
『建礼門院右京大夫集』の発信と影響【選書】	30
影印本 元禄版猿蓑	24
元禄名家句集略注 池西言水篇	33
元禄名家句集略注 伊藤信徳篇	33
元禄名家句集略注 上嶋鬼貫篇	33
元禄名家句集略注 小西来山篇	33
元禄名家句集略注 椎本才麿篇	8, 34
元禄名家句集略注 山口素堂篇	33

— こ —

語彙・語法から見た四鏡の文章【研究叢書】	21
幸田文【女性作家評伝】	27
紅梅【青表紙本源氏物語】	23
校本石清水物語【研究叢書】	21
古今集一【影印校注古典叢書】	25
『古今和歌集』巻二十 - 注釈と論考 - 【注釈叢書】	22
国学史再考【選書】	29
『こころ』の真相【選書】	29
古事記歌謡注釈	26
古事記の仕組み【新書】	31
ゴジラ傳 - 怪獣ゴジラのアニメーション - 【選書】	29
古代中世文学論考	2, 22
胡蝶【青表紙本源氏物語】	23
滑稽艶笑譚 - 江戸小咄を愉しむ【新書】	32
古典と歩く古都鎌倉	33
古典の叢智 - 老いを愉しむ【選書】	29
古典の本文はなぜ揺らぎうるのか【選書】	6, 30
古典文学概論【活字本テキスト】	26
古典文学をどう読むのか【選書】	11, 30
古典和歌の時空間【選書】	29
古典和歌の世界【選書】	28
古典和歌の文学空間【選書】	29
古典和歌の詠み方読本【選書】	29

ことば遊びの世界【選書】	28
ことば遊びへの招待【新書】	31
ことばと文字の遊園地【新書】	32
後水尾院時代の和歌【選書】	7, 30
これならわかる返り点【新書】	31
これならわかる漢文の送り仮名【選書】	29
これならわかる復文の要領【選書】	29
コロボックルとはだれか【新書】	32

— さ —

西鶴の世界Ⅰ・Ⅱ【活字本テキスト】	26
賢木【青表紙本源氏物語】	23
新版 作品で読む20世紀の日本文学	26
新版 作品で読む宮沢賢治	26
新版 作品で読む明治文学	26
作品の表現の仕組み【選書】	29
酒とシャーマン【新書】	31
校注 狭衣物語 巻一・巻二	25
校注 讃岐典侍日記	25
讃岐典侍日記への視界【選書】	28
影印本 更級日記	24
校注 更級日記	25
更級日記への視界【選書】	28
早蕨【青表紙本源氏物語】	23

— し —

椎本【青表紙本源氏物語】	23
詞花和歌集【大妻文庫】	26
史館茗話【活字本テキスト】	26
影印本 鳴の羽搔	24
学ぶ前にふれる 実践中国語練習帳	12, 26
知ったか源氏物語【新書】	32
実用変体がな【影印本】	24
芝居にみる江戸のくらし【新書】	31
澁川春海と谷重遠【選書】	29
島瓦の考古学【選書】	28
袖中抄の研究【研究叢書】	20
重箱の隅から読む名場面【新書】	32

受容と創造における通態的連鎖……………	11, 34
春画論 - 性表象の文化学【研究叢書】……………	20
俊寛【活字本テキスト】……………	26
室町期浄土僧 聖聡の談義と説話【研究叢書】……………	7, 22
正徹【日本の作家】……………	27
少年少女のクロニクル【新書】……………	32
校本 式子内親王集【研究叢書】……………	6, 21
式子内親王全歌新釈……………	33
式子内親王 - その生涯と和歌【選書】……………	29
女性死刑囚の物語【選書】……………	9, 30
初代都太夫一中の浄瑠璃【新書】……………	32
女流歌人 中務【選書】……………	28
女流の文学 - 古典編 - 【活字本テキスト】……………	26
白洲正子 - 日本文化と身体【選書】……………	29
新 うたの神話学……………	34
新講古典文法【活字本テキスト】……………	26
影印本 心中重井筒・今宮の心中……………	24
新撰類聚往来 影印と研究【研究叢書】……………	21
新撰朗詠集全注釈 全四巻【注釈叢書】……………	23
神仏習合の手法【研究叢書】……………	21
《新明解》な 比喩づくし【新書】……………	10, 32

— す —

末摘花【青表紙本源氏物語】……………	23
物書きブライ漢 杉田瑞子……………	34
鈴虫【青表紙本源氏物語】……………	23
雀様が語る日本……………	34
須磨【青表紙本源氏物語】……………	23
須磨・明石【影印校注古典叢書】……………	25
『住吉物語』の世界【選書】……………	28

— せ —

清少納言【日本の作家】……………	27
清少納言“受難”の近代【新書】……………	31
世界観光事情 まち歩きの楽しみ……………	33
閑屋【青表紙本源氏物語】……………	23
世俗諺文全注釈【注釈叢書】……………	23
説話の中の僧たち【選書】……………	29

戦国時代の諏訪信仰【新書】……………	30
戦国武将と能楽【新書】……………	32
全釈続みなしぐり【注釈叢書】……………	23
戦場を発見した作家たち【選書】……………	30

— そ —

漱石最後の〈笑い〉……………	10, 34
曾我物語 上・中・下【大妻文庫】……………	26
続・王朝文学論【研究叢書】……………	21
続近世類題集の研究【研究叢書】……………	8, 21
続・古典和歌の時空間【選書】……………	29
続・能のうた【選書】……………	30
影印本 曽根崎心中……………	24

— た —

増補 太平記と古活字版の時代【研究叢書】……………	20
太平記における白氏文集受容【研究叢書】……………	20
宝井其角【日本の作家】……………	27
竹河【青表紙本源氏物語】……………	23
竹取物語【影印本】……………	24
玉鬘【青表紙本源氏物語】……………	23
玉鬘・初音【影印校注古典叢書】……………	25
田山花袋【日本の作家】……………	27

— ち —

智恵子抄の光景【新書】……………	31
『智恵子抄』の世界……………	34
智恵子抄を歩く - 素顔の智恵子 - ……	34
智恵子抄を読む【選書】……………	28
中級からの日本語 - 読解中心 - ……	26
中近世中院家における百人一首注釈の研究【研究叢書】……………	20
注釈『晩年』抄【活字本テキスト】……………	26
編年 中世の文学【活字本テキスト】……………	26
中世文学の思想と風土【研究叢書】……………	21
超口語訳 徒然草【新書】……………	32

— つ —

つける 連歌作法閑談【新書】……………	32
---------------------	----

土屋文明私論 - 歌・人・生 - 【選書】	28
校注 堤中納言物語	25
堤中納言物語（上下）【影印校注古典叢書】	25
堤中納言物語論【研究叢書】	5, 22
壺井栄【女性作家評伝】	27
徒然草【大妻文庫】	26
徒然草 人物考証の新研究【研究叢書】	21

— て —

影印本 定家歌論集	24
哲学とユーモア	34
手習【青表紙本源氏物語】	24
寺田洋祐 俳画集 蕪村・一茶に遊ぶ	34
天皇と女性霊力【新書】	30

— と —

東海の「道」から見た上代文学	33
東京裁判の思想課題【選書】	10, 30
東京 文学散歩	33
土岐善庵と図書館	34
常夏【青表紙本源氏物語】	23
影印本 土左日記（新訂版）	24
都市空間の文学【新書】	31
校注 とはずがたり	25
とびらをあける中国文学【選書】	11, 30
『とりかへばや』の研究【研究叢書】	21
跳んだ『源氏物語』【新書】	31

— な —

中原中也【日本の作家】	27
なぜ神楽は応仁の乱を乗り越えられたのか【選書】	7, 30
謎解き富嶽百景	34
謎解き森鷗外	34
涙の美学【新書】	32
奈良・京都 文学散歩	33

— に —

句宮【青表紙本源氏物語】	23
--------------	----

二・二六事件の思想課題【新書】	32
日本近代文学はアジアをどう描いたか【選書】	29
日本語基幹構文の研究【研究叢書】	20
日本古典文学における孝文化【研究叢書】	21
日本古典文学の研究【研究叢書】	4, 21
日本古典 文・和歌・文章の構造	26
日本語リテラシー	26
日本詩歌選〔改訂版〕【活字本テキスト】	26
日本書紀典拠論【研究叢書】	20
日本の恋歌とクリスマス【選書】	9, 30
日本文学研究のために——【活字本テキスト】	26
日本文学検定公式問題集〔古典・近現代〕3級	26
日本文学検定公式問題集〔古典〕2級	26
日本文学検定公式問題集〔近現代〕2級	26
作品中心 日本文学史【活字本テキスト】	26
入門 平安文学の読み方【選書】	30

— の —

能のうた【選書】	29
野上彌生子【女性作家評伝】	27
のたれ死にでもよいではないか【新書】	30
野分【青表紙本源氏物語】	23

— は —

幕末維新期の近藤芳樹【研究叢書】	21
はじめて学ぶ仏教 インド・中国編	34
国文学研究資料館蔵 橋本本『源氏物語』「若紫」	24
橋姫【青表紙本源氏物語】	23
橋姫・椎本【影印校注古典叢書】	25
芭蕉 - 俳聖の実像を探る【新書】	31
芭蕉・近松・西鶴【活字本テキスト】	26
芭蕉の学力【選書】	29
バタヴィアの貴婦人【新書】	31
初音【青表紙本源氏物語】	23
花散里【青表紙本源氏物語】	23
花宴【青表紙本源氏物語】	23
帯木【青表紙本源氏物語】	23
帯木【影印校注古典叢書】	25

春のみやまち【影印校注古典叢書】	25
------------------	----

— ひ —

東アジアの知 - 文化研究の軌跡と展望 -	34
東アジアの文芸共和国【新書】	31
光源氏とティータム【新書】	31
光源氏と夕顔 - 身分違いの恋 - 【新書】	30
肥後集全注釈【和歌文学注釈叢書】	22
人と書と 歴史人の直筆	33
人と書とⅡ 歴史人の直筆	33
人と書とⅢ 歴史人の直筆	9, 33
影印本 百人一首	24
百人一首かるたの世界【新書】	31
百人一首(兼載筆)【影印校注古典叢書】	25
百人一首を読み直す【選書】	28
百人一首を読み直す2【選書】	30
郷歌 - 注解と研究【選書】	28
表象のトランス・ジェンダー	33
平林たい子【女性作家評伝】	27

— ふ —

武器で読む八大伝【新書】	31
藤沢周平 とどめの一文【新書】	32
富士山と文学	8, 33
藤裏葉【青表紙本源氏物語】	23
藤袴【青表紙本源氏物語】	23
藤原俊成女【日本の作家】	27
『扶桑略記』の研究【研究叢書】	5, 21
文学部のリアル、東アジアの人文学	34
文豪たちの「？」な言葉【新書】	32
文豪だって漢詩をよんだ【新書】	31
文豪の漢文旅日記【選書】	29
文体再見【選書】	30
〔文法〕であじわう名文【新書】	32
文明批評の系譜【選書】	28

— へ —

平安貴族を襲う悪霊の風	5, 33
-------------	-------

平安朝の文学と装束【研究叢書】	20
平家物語とその周辺【新書】	32
平家物語の死生学 - 上・下 - 【新書】	31
変体がなで読む日本の古典	24

— ほ —

大福光寺本 方丈記【影印校注古典叢書】	25
校注 方丈記・徒然草	25
方丈記と往生要集【選書】	29
鳳朗と一茶、その時代【選書】	30
螢【青表紙本源氏物語】	23
本朝麗藻全注釈 全五巻【注釈叢書】	22, 23

— ま —

真木柱【青表紙本源氏物語】	23
『枕草子』をどうぞ【選書】	28
松井石根 アジア主義論集	34
待つ女の悲劇【新書】	31
松風【青表紙本源氏物語】	23
魔法少女まどか☆マギカ講義録【新書】	32
幻【青表紙本源氏物語】	23
万葉 恋歌の装い【選書】	28
万葉集からみる「世界」【新書】	32
万葉集宮廷歌人全注釈【選書】	28
校注 万葉集筑紫篇	25
万葉集巻一・二【影印校注古典叢書】	24
萬葉集名花百種鑑賞	33
万葉集略解抄【影印本】	24
万葉集を訓んだ人々【新書】	32
影印本 万葉新採百首解	24
萬葉の散歩みち - 上・下 - 【新書】	31
萬葉の散歩みち - 続 - 【新書】	32

— み —

三浦綾子文学の本質と諸相	10, 34
濤標【青表紙本源氏物語】	23
濤標・蓬生・閑屋【影印校注古典叢書】	25
未刊 江戸歌舞伎年代記集成【研究叢書】	20

三島由紀夫【日本の作家】	27
三島由紀夫の源流【選書】	29
三島由紀夫『豊饒の海』VS 野間宏『青年の環』【選書】	29
水鏡の成立と構造【研究叢書】	21
御法【青表紙本源氏物語】	23
宮古の神々と聖なる森【選書】	29
宮崎駿が描いた少女たち【選書】	30
新版 宮崎駿の地平【選書】	30
行幸【青表紙本源氏物語】	23
民間説話と『宇治拾遺物語』【研究叢書】	21

— む —

昔男の青春【新書】	31
向田邦子の思い込みトランプ【新書】	32
向田邦子の比喩トランプ【新書】	32
向田邦子の末尾文トランプ【新書】	32
向田邦子文学論【選書】	30
紫式部【日本の作家】	27
校注 紫式部日記	25
紫式部日記の世界へ【新書】	31

— め —

明治、このフシギな時代【選書】	29
明治、このフシギな時代2【選書】	29
明治、このフシギな時代3【選書】	30
女神たちの中世物語【新書】	32

— も —

毛髪で縫った曼荼羅【選書】	28
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第1集	33
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第2集	33
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第3集	33
もっと知りたい 池田亀鑑と「源氏物語」第4集	33
元良親王集全注釈【和歌文学注釈叢書】	22
物語展開と人物造型の論理【研究叢書】	20
物語のいでき始めのおや【選書】	29
物語の中の京都【新書】	32
物語文学の生成と展開【研究叢書】	20

紅葉賀【青表紙本源氏物語】	23
紅葉賀・花宴・葵【影印校注古典叢書】	25
森鷗外 永遠の問いかけ【選書】	29

— や —

八百屋お七論【研究叢書】	21
宿木【青表紙本源氏物語】	23
山鹿文庫本発心集【研究叢書】	20
山路の露・雲隠六帖【青表紙本源氏物語】	24
大和の古代文化	3, 33
校注 大和物語	25
大和物語文献集成【作品別研究文献】	33

— ゆ —

夕顔【青表紙本源氏物語】	23
夕霧【青表紙本源氏物語】	23
ゆく河の水に流れて【選書】	30
夢の浮橋【青表紙本源氏物語】	24
ユーラシア文化の中の纏向・忌部・邪馬台国【研究叢書】	2, 21

— よ —

横笛【青表紙本源氏物語】	23
義経伝説と鎌倉・藤沢・茅ヶ崎【選書】	29
蓬生【青表紙本源氏物語】	23
夜の海、永劫の海【新書】	32
『夜の寝覚』から読む物語文学史【研究叢書】	21
ヨーロッパ観光事情 まち歩き楽しみ	33

— り —

リアルなイーハトーヴ【選書】	29
理性と平和	34
琉球の恋歌【新書】	32
柳宗元古文注釈【注釈叢書】	23
良寛 - 文人の書 -	33

— れ —

礼法を伝えた男たち【新書】	31
「令和」から読む万葉集【新書】	32

影印本 連歌作品集	24	若紫【青表紙本源氏物語】	23
連歌という文芸とその周辺【研究叢書】	20	若紫・末摘花【影印校注古典叢書】	25
連句の世界【活字本テキスト】	26	和歌を力に生きる【新書】	31
— わ —			
若菜上【青表紙本源氏物語】	23	忘れられた作家・忘れられない作品	34
若菜下【青表紙本源氏物語】	23	〈悪口〉の文学、文学者の〈悪口〉【新書】	30
		我を絵に看る - 芭蕉の甲斐行 - 【新書】	31

— あ —

青木生子 ……………26
 青山学院大学文学部日本文学科
 ……………28
 赤木孝之 ……………26
 秋間康夫 ……………14
 秋山虔 ……………23
 秋山秀一 ……………33
 阿久澤忠 ……………20
 坪美奈子……………2, 17, 18, 21
 浅川楨子 ……………24
 浅田徹 ……………22
 麻原美子 ……………13
 浅見和彦 ……………26
 安達太郎 ……………33
 阿部秋生 ……………24
 阿部江美子……………24
 阿部一彦 ……………18
 安保博史 ……………26
 雨海博洋 ……………15
 天野紀代子……………18, 30, 31
 天野文雄 ……………26
 有馬義貴 ……………19
 有吉保 ……………24, 25
 安藤亨子 ……………25

— い —

飯沼清子 ……………20
 伊井春樹 ……………15
 井黒佳穂子……………19
 池田重 ……………26
 池田勉 ……………24
 池田弥三郎……………23
 池辺実 ……………14
 石井文夫 ……………22
 石井龍太 ……………28
 石川徹 ……………14, 23
 石川洋子 ……………20
 石黒吉次郎……………17, 19, 21, 25, 31
 石坂妙子 ……………15, 18
 石田穰二 ……………23

石田千尋 ……………8, 33
 石塚政吾 ……………34
 石原清志 ……………15
 伊勢光 ……………21
 磯水絵 ……………33
 板垣俊一 ……………9, 30, 33
 市井外喜子……………14, 16, 17
 伊地知鉄男……………24
 一瀬幸子 ……………25
 井爪康之 ……………14
 井手至 ……………14, 16
 伊藤悦子 ……………33
 伊藤敬 ……………14, 17
 伊藤剣 ……………18
 伊東玉美 ……………28
 伊藤楨子 ……………3, 22
 伊藤鉄也 ……………24, 33
 伊藤博 ……………24
 伊藤守幸 ……………15, 19
 伊藤陽寿 ……………31
 伊藤善隆 ……………26
 糸賀きみ江……………26
 稲賀敬二 ……………16, 23, 27, 28
 乾裕幸 ……………14
 犬養廉 ……………23~25
 井上和人 ……………26
 井上啓治 ……………15
 井上さやか……………18, 32
 井上隆明 ……………13, 16
 井上隆史 ……………27, 29
 井上宗雄 ……………26
 井上八雲 ……………24
 井上泰至 ……………30
 今井源衛 ……………23, 24
 今泉忠義 ……………23
 今井卓爾 ……………23
 今成元昭 ……………15
 今浜通隆……………6, 21~23
 李美淑 ……………18
 芋生裕信 ……………28
 岩坪健 ……………31, 32
 岩淵宏子……………27

— う —

上坂信男 ……………15, 23
 上野辰義 ……………21
 上野麻美 ……………7, 22
 上原作和 ……………17
 上村悦子 ……………23
 請川利夫 ……………27, 28
 白田甚五郎……………23
 内田美由紀……………4, 19, 22
 有働智契 ……………34
 梅野きみ子……………15

— え —

江口正弘……………18, 23, 25
 榎坂浩尚 ……………15
 江藤茂博 ……………34
 榎本正純 ……………32
 江本裕 ……………17
 遠藤和夫 ……………25
 遠藤邦基 ……………13
 遠藤星希 ……………11, 30

— お —

扇畑忠雄 ……………26
 大朝雄二 ……………23
 大木正義 ……………14~17, 29
 大倉比呂志……………16, 19, 25
 大島龍彦 ……………16, 18, 28, 34
 大島裕子 ……………31, 34
 大城悦子 ……………20
 太田敦子 ……………19, 32
 太田昌孝 ……………19
 大妻女子大学国文学会……………26
 大伏節子 ……………34
 大伏春美……………15, 24, 34
 大谷哲 ……………18
 大和博幸 ……………21
 大輪靖宏 ……………31
 岡一男 ……………23
 岡倉登志 ……………9, 34
 岡崎和夫 ……………27

尾形明子	27
岡田博子	15
岡野道夫	25
岡本隆雄	29
岡保生	13, 14
岡山典弘	29
小木曾千代子	18
荻野恭茂	28
奥出文子	25
小倉肇	15
尾崎知光	19, 20
小沢正夫	14
小田剛	29, 33
小野恭靖	28, 29, 31, 32
小野美典	21
小俣喜久雄	32
小村宏史	18

— か —

景山正隆	14, 24, 26
風岡むつみ	4, 21
鋸武彦	18
梶原正昭	16
片岡哲	15
片岡懋	13~15
片桐洋	22~24
片野達郎	14, 26
片山ふゆき	21
勝倉壽一	21
勝亦志織	3, 22
勝山貴之	11, 30
加藤静子	20
加藤伸江	21
金井清光	14, 15
かな研究会	24
金澤和美	19
金田房子	30
金木利憲	20
加納重文	28
蒲豊彦	30
釜田喜三郎	14
神尾暢子	13, 15~17, 25, 27
上島眞智子	21
上條彰次	14
紙宏行	20

川上富吉	20, 24, 33
川鍋義一	19
川平ひとし	24
関西私家集研究会	22
神作光一	23, 25
神田邦彦	20
神田典城	20
神原勇介	5, 22

— き —

菊田茂男	23
菊池威雄	6, 13, 16, 17, 28~30
岸上慎二	23
北島信一	31
北原美紗子	15
喜多義勇	23
木下優	33
木村正中	26
京都橋大学日本語日本文学科	26
京都仏教説話研究会	29
雲英末雄	24, 26

— く —

久喜の会	22
久下晴康	13, 25, 26
久下裕利	14, 27
日下幸男	16
櫛井亜依	4
くずし字研究会	24
楠元六男	14, 31
工藤隆	3, 28
工藤浩	17
久保木哲夫	22
久保木寿子	21
久保朝孝	29
熊谷義隆	31
熊本守雄	17
倉田実	13, 28
倉橋正恵	20
呉羽長	19, 28
桑原博史	23, 25, 27
桑原博行	20

— け —

源氏物語を読む会	18, 19, 21
----------	------------

— こ —

小秋元段	17, 20
小池章太郎	20
小池博明	15
古池由美	16
基石雅利	26
小井土守敏	20
小内一明	25
康林	17
小久保崇明	19, 21, 25
小財陽平	20
小澤洋子	30
小島孝之	24, 26
古代中世文学論考刊行会	2, 22
古田島洋介	29, 31
古典和歌研究会	26
後藤康文	19
小林一郎	27
小林茂美	24
小林富久子	27
小林裕子	27
小町谷照彦	28
小松光三	15
小森潔	26
小谷野純一	25, 28, 31
小山利彦	25
今栄蔵	14
近藤豊勝	14
今野厚子	17

— さ —

齊藤千恵	20
佐伯雅子	18, 31
三枝和子	27
酒井敏	16
酒井茂幸	7, 19~21
坂口善保	17
阪倉篤義	23
坂巻甲太	14
桜井宏徳	18, 20

桜井満	24
桜井祐三	23
笹本正治	30
佐藤恵里	16
佐藤勝明	8, 24, 26, 33, 34
佐藤勢紀子	20
佐藤隆	33
佐藤智広	33
佐藤信雅	20
佐藤由佳	21
三野恵	28

— し —

鹿野しのぶ	19
繁田信一	30
柴田幸子	19
渋谷栄一	31
島内景二	14, 27
清水婦久子	30
清水文雄	23
志水義夫	29, 31, 32
清水好子	23
志村有弘	29, 30
志村士郎	14, 16
ジュリー・ブロック	11, 34
正道寺康子	17
白石広子	31
白井忠功	16
城崎陽子	32
信州平安文学研究会	17
新藤協三	17
陣野英則	5, 22
神保五彌	14

— す —

末澤明子	21
陶智子	17
杉崎重遠	13
杉下元明	31
杉谷寿郎	16, 22
杉田昌彦	18
杉本完治	20, 26, 29
杉森暢男	14
杉山重行	13
鈴木一雄	23, 24

鈴木啓吾	29, 30
鈴木堅弘	20
鈴木淳	24
鈴木武晴	28
鈴木知太郎	23
鈴木俊幸	19
鈴木元	15, 32
鈴木久	29
鈴木宏昌	18
鈴木啓之	18
鈴木泰恵	25
須田喜代次	14
須藤圭	19
諏訪春雄	30

— せ —

瀬尾博之	21
瀬川拓郎	32
関河眞克	4, 21
妹尾好信	16, 21, 31

— そ —

曾沢太吉	23
園明美	28
孫久富	14, 15, 17

— た —

高木浩明	18
高崎正秀	23
高芝麻子	11, 30
高梨素子	7, 30
高橋和夫	23
高橋正治	23
高橋忠彦	19, 21
高橋久子	19, 21
高橋博巳	31
高橋文二	15
高松寿夫	17
田口章子	29, 30
武井和人	6, 20, 21, 27, 30
竹内正彦	17
竹尾利夫	26
竹下豊	22
竹下義人	26, 33
竹田晃	23

竹野静雄	13, 28
竹林一志	10, 34
武山隆昭	25
田代圭一	9, 24, 33
橘誠	25
橘りつ	25
辰巳正明	3, 26, 28, 31~33
田中康二	29
田中智行	11, 30
田中徳定	17, 29
田中裕	24
田中善信	13, 18, 23, 27, 29, 31, 33

谷口基	18
谷地快一	17, 26
谷知子	22
谷脇理史	13, 16, 26
玉上琢弥	23
玉城司	8, 30, 33, 34
田村柳壺	26
多屋頼俊	24

— ち —

崔吉城	34
趙秀全	21

— つ —

塚原鉄雄	13, 14, 16~18, 25, 26
辻和良	18
遠志保	28
津田大樹	20
土屋忍	19
堤和博	21, 31, 32
堤康夫	16, 18
津本信博	17, 19, 20

— て —

丁若思	12, 26
デートレフ・ティール	34
寺田洋祐	34
寺本直彦	23

— と —	日記文学会中世分科会 ……………10, 30, 32	半田公平 ……………17
土佐朋子 ……………21	仁平道明 ……………18	半藤英明 ……………17, 20
戸谷高明 ……………13, 16	日本古典文学研究会 ……4, 21	
外山敦子 ……………17	日本文学検定委員会 ……26	— ひ —
— な —	日本文学風土学会 ……8, 30	日沖敦子 ……………28
中井賢一 ……………20	丹羽みさと ……………21	東原伸明 ……………16
永井義憲 ……………13	— の —	人見千佐子 ……………29
中川桂 ……………29	野口元大 ……………23, 25	日向一雅 ……………13
長崎健 ……………25	野末明 ……………28	邊恩田 ……………21
中沢けい ……………27	野田千平 ……………14	平井芽阿里 ……………29
中路基夫 ……………18	野田浩子 ……………15	平田澄子 ……………18
中城さと子 ……………17	野村幸一郎 …10, 12, 26, 29, 30, 32~34	平田英夫 ……………19
永田英理 ……………8, 34	野村貴次 ……………13	平田喜信 ……………14, 16, 25
中田節 ……………29	— は —	廣岡義隆 ……………31, 32
中田剛直 ……………23	萩谷朴 ……………24, 25	廣川晶輝 ……………31
中田武司 ……………24, 25	迫徹朗 ……………23	廣川勝美 ……………15
中田雅敏 ……………34	橋本不美男 ……………23~25	廣木一人 ……………17, 20, 24
仲田庸幸 ……………23	長谷章久 ……………24	廣田收 ……4, 11, 19, 21, 29~31
中西健治 ……………19	長谷川啓 ……………27	— ふ —
中西智子 ……………21	長谷川端 ……………14, 17	深澤邦弘 ……………17, 34
中西進 ……………28, 34	畑恵里子 ……………18	深沢徹 ……………31
長沼英二 ……………14	畠山大二郎 ……………20	福寛美 ……………5, 31~34
長野一雄 ……………17	服部旦 ……………13	藤岡忠美 ……………23
中野猛 ……………15	花田富二夫 ……………17	藤澤友祥 ……………20
中畑充弘 ……………28	馬場昭佳 ……………11, 30	藤平春男 ……………26
中哲裕 ……………16	濱口博章 ……………13, 26, 28	藤本宗利 ……………27, 28
永藤靖 ……………15	濱田敦 ……………14, 16	藤原マリ子 ……………16
中村博雄 ……………34	濱田浩一郎 ……………32	扶桑略記を読む会 ……5, 21
中村幸弘 ……………19, 26	濱田寛 ……………23	二又淳 ……………26
中村佳文 ……………9, 30	濱中修 ……………15, 26, 32	古屋明子 ……………20
中本真人 ……………7, 19, 30, 32	林久美子 ……………33	— へ —
中山和子 ……………27	林田正男 ……………13, 25	平安私家集研究会 ……22
名木橋忠大 ……………19	原國人 ……………15, 16, 29, 34	— ほ —
並木宏衛 ……………24	原田香織 ……………32	保科恵 ……………15, 30
奈良県立万葉文化館 ……3, 33	原豊二 ……………19	星野五彦 ……………14, 28
南波浩 ……………23	原愼子 ……………19, 29	細谷博 ……………10, 34
— に —	針原孝之 ……………18	堀切実 ……………31
西沢正二 ……………25	播本眞一 ……………18	堀口悟 ……………25
西田禎元 ……………21	ハルトムート・ゲールケン ……………34	本宮洋幸 ……………21
西原志保 ……………32	半沢幹一 (はんざわかんいち)	本間洋一 ……………26
二松學舎大学文学部国文学科 ……………33		

— ま —

前田雅之	19
増田繁夫	27
増田みず子	27
松尾聡	23
松崎仁	26
松園宣郎	14
松田存	19, 20
松野彩	20
松村博司	23
松村雄二	25
松本直樹	17
松本治久	16
松本弘毅	18
松本寧至	16
丸山茂	15
萬羽啓吾	33

— み —

三瓶達司	13, 15, 27
水田宗子	27
水原一	15
光延真哉	20
峯岸義秋	26
美夫君志会	16, 18
三村晃功	8, 21, 28, 29
宮岡薫	13
宮尾慈良	11, 34
宮尾與男	32
宮川葉子	17
宮崎莊平	18, 20, 28, 31, 34
宮崎裕子	19, 21
宮谷聡美	4, 22
宮脇真彦	26
三善貞司	27
三輪正胤	28

— む —

向田邦子研究会	30
村井順	47
村尾誠一	27
村瀬敏夫	15

— め —

目加田さくを	23
--------	----

— も —

馬上駿兵	32
元吉進	26
桃澤匡行	20
森岡常夫	23
森岡ゆかり	29, 31
森修	24
森田喜郎	15
森野正弘	19
森本元子	13, 25, 26
守屋省吾	13, 16, 25
両角倉一	16

— や —

安川定男	23
矢内賢二	29, 30
柳澤浩哉	29
柳澤良一	23
柳田忠則	20, 25, 33
藪禎子	27
山岡敬和	19, 30
山上義実	21
山岸徳平	23~26
山口博	2, 21
山崎藍	11, 30
山崎かおり	19
山下道代	28
山田純	20
山田利博	17, 32

山田直巳	3, 14, 16, 21
山田永	16
山中悠希	24
山本英二	19
山本啓介	18
山本順子	34

— ゆ —

湯浅幸代	20
湯澤賢之助	16
由里幸子	27

— よ —

横井孝	28
吉江久彌	13
吉岡曠	23
吉海直人	28~31
吉川発輝	14
吉田弥生	31
吉田唯	21
吉成直樹	31
吉丸雄哉	18, 31
吉村誠	24

— り —

林叢	14
----	----

— わ —

鷺山茂雄	30
和田琢磨	20, 24
渡辺静子	13, 25
渡邊澄子	27
渡辺信和	18
渡辺仁史	19
渡辺善雄	17
綿拔豊昭	16, 31
和田正美	28
和田律子	18

新典社常備店一覧

*小社の出版物は、下記書店のご協力により、店頭でご覧になれます。もし、ない場合には、全国どちらの書店からでもご注文いただけますので、書名・シリーズ名・巻数などを書店員にお伝え下さい。

【北 海 道】		【長 野 県】	
札幌市	MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店	松本市	丸善松本店
【青 森 県】		【岐 阜 県】	
青森市	ブックスマア青森中央店	岐阜市	丸善岐阜店
【新 潟 県】		【愛 知 県】	
新潟市	ジュンク堂書店新潟店	名古屋市	丸善名古屋本店
【富 山 県】		名古屋市	泰文堂日比野本店
富山市	文苑堂書店富山豊田店	【京 都 府】	
【栃 木 県】		京都市	丸善京都本店
宇都宮市	落合書店宝木店	【大 阪 府】	
【群 馬 県】		大阪市	ジュンク堂書店難波店
前橋市	ブックマンズアカデミー前橋店	大阪市	ジュンク堂書店大阪本店
高崎市	ブックマンズアカデミー高崎店	大阪市	MARUZEN&ジュンク堂書店梅田店
【茨 城 県】		大阪市	ジュンク堂書店天満橋店
ひたちなか市	蔦屋書店ひたちなか店	【兵 庫 県】	
つくば市	TSUTAYA LALAガーデンつくば（ブックエースつくば店）	神戸市	ジュンク堂書店三宮駅前店
【埼 玉 県】		神戸市	ジュンク堂書店三宮店
さいたま市	ジュンク堂書店大宮高島屋店	明石市	ジュンク堂書店明石店
さいたま市	押田謙文堂本店	【岡 山 県】	
【千 葉 県】		倉敷市	喜久屋書店倉敷店
習志野市	丸善津田沼店	【広 島 県】	
印西市	喜久屋書店千葉ニュータウン店	広島市	丸善広島店
【東 京 都】		安芸郡	フタバ図書TERA広島府中店
千代田区	三省堂書店神保町本店	広島市	ジュンク堂書店広島駅前店
千代田区	丸善丸の内本店	福山市	啓文社ポートプラザ店
世田谷区	富山房インターナショナル日本大学文理学部売店	【香 川 県】	
【神 奈 川 県】		高松市	宮脇書店総本店
横浜市	有隣堂伊勢佐木町本店	【愛 媛 県】	
藤沢市	有隣堂藤沢店	松山市	ジュンク堂書店松山店
藤沢市	ジュンク堂書店藤沢店	【福 岡 県】	
【山 梨 県】		福岡市	丸善博多店
都留市	都留文科大学学生協書籍部	福岡市	紀伊國屋書店福岡本店
		中央区	ジュンク堂書店福岡店
		北九州市	喜久屋書店小倉店
		【大 分 県】	
		大分市	明林堂書店大分本店
		【鹿 児 島 県】	
		鹿児島市	ジュンク堂書店鹿児島店